

2024年3月期
第2四半期 決算説明会

2023年11月9日

免責事項

本資料は、ソフトバンクグループ株式会社(以下「SBG」)及びその子会社(以下SBGと併せて「当社」)並びに関連会社(以下当社と併せて「当社グループ」)に関する関連情報を提供するものであり、すべての法域において、いかなる証券の購入又は応募の申込みを含む、いかなる投資勧誘を構成又は形成するものではありません。

また、本資料は、Arm Holdings plcが発行する証券の購入または応募の申込み、またはその勧誘を構成するものではありません。あらゆる証券の購入または応募の申込み、またはその勧誘は、1933年米国証券法(改正法も含む)およびその他の適用証券取引関連法令に従い登録制に基づき行われます。

本資料には、当社グループの推定、予測、目標及び計画を含む当社グループの将来の事業、将来のポジション及び業績に関する記述など当社グループの将来の見通しに関する記述、見解又は意見が含まれています。将来の見通しに関する記述には、特段の限定を付すことなく、「目標とする」、「計画する」、「確信する」、「希望する」、「継続する」、「期待する」、「目的とする」、「意図する」、「だろう」、「かもしれない」、「であるべきである」、「したであろう」、「できた」、「予想する」、「推定する」、「企図する」若しくは類似する内容の用語若しくは言い回し又はその否定形などが含まれています。本資料に記載されている将来の見通しに関する記述は、当社グループが本資料の日付現在において入手可能な情報を踏まえた、当社グループの現在の前提及び見解に基づくものです。これら将来の見通しに関する記述は、当社グループのメンバー又はその経営陣による将来の業績を保証するものではなく、当社グループのビジネスモデルの成功、当社グループの資金調達力及びその資金調達条件の影響、SBGの重要な経営陣に関するリスク、当社グループの投資活動に関する又はこれに影響を与えるリスク、SBファンド(下記で別途定義)並びにその投資、投資家及び投資先に関するリスク、ソフトバンク株式会社及びその事業の成功に関するリスク、法令・規制・制度などに関するリスク、知的財産権に関するリスク、並びに訴訟を含むこれらに限られない既知及び未知のリスク、不確実性その他要因を含み、これらの要因により、実際の当社グループの実績、業績、成果又は財務状態は、将来の見通しに関する記述において明示又は黙示されている将来の実績、業績、成果又は財務状態と著しく異なる可能性があります。当社グループの実績、業績、成果又は財務状態に影響を与える可能性のあるこれら及びその他の要因については、SBGのホームページの「事業等のリスク」(https://group.softbank/ir/investors/management_policy/risk_factor)をご参照下さい。当社グループ及びその経営陣は、これら将来の見通しに関する記述に明示されていることを保証するものではなく、実績、業績、成果又は財務状態は、予想と著しく異なる可能性があります。本資料を閲覧する者は、将来の見通しに関する記述に過度に依拠してはなりません。当社は、本資料に記載される将来の見通しに関する記述その他当社が行う将来の見通しに関する記述を更新する義務を負いません。過去の業績は、将来の実績を示すものではなく、本資料に記載される当社グループの実績は、当社グループの将来の実績の予測若しくは予想の指標となるものではなく、又はこれを推定するものでもありません。

本資料に記載されている当社グループ以外の企業(SBファンドの投資先を含みますが、これに限られません。)に関わる情報は、公開情報等から引用したものであり、当社は、情報の正確性又は完全性について保証するものではありません。

商標について

本資料に記載されている企業、製品及びサービスの名称は、各企業の商標又は登録商標です。

重要なお知らせ—SBGの普通株式の取引、スポンサーなしADR(米国預託証券)に関する免責事項

SBGの普通株式の売買を希望する場合には、当該普通株式が上場され、主に取引が行われている東京証券取引所において売買を行うことを推奨します。SBGの開示は、スポンサーなしADR(以下「ADR」)の取引の促進を意図するものではなく、ADRの取引判断を行う際にこれに依拠すべきではありません。SBGは、SBGの普通株式に関するスポンサーなしADRプログラムの設立又はそれに基づき発行されるADRの発行若しくは取引について、過去及び現在において、参加、支援、推奨その他同意を行ったことはありません。SBGは、ADR保有者、銀行又は預託機関に対して、(i)SBGが1934年米国証券取引所法(以下「証券取引所法」)で定めるところの報告義務を負うこと、又は、(ii)SBGのホームページに、SBGが証券取引所法ルール12g3-2(b)に従って証券取引所法に基づくSBGの普通株式の登録の免除を維持するために必要な全ての情報が継続的に掲載されることを表明するものではなく、また、当該者又は機関は、そのように信じてはなりません。適用ある法が許容する最大限の範囲において、SBG及び当社グループは、SBGの普通株式を表象するスポンサーなしADRIに関連して、ADR保有者、銀行、預託機関その他企業又は個人に対するいかなる義務又は責任を否認します。

上記の免責事項は、ソフトバンク株式会社やLINEヤフー株式会社などの、スポンサーなしADRプログラムの対象であるか又は将来対象となる可能性のある当社グループの証券に同様に適用されます。

本資料に記載されるファンド情報に関するお知らせ

本資料は、情報提供を目的として提供されるものであり、法律上、税務上、投資上、会計上その他の助言又はSB Global Advisers Limited(以下「SBGA」)、SB Investment Advisers (UK) Limited(以下「SBIA」)及びそれらの関係会社を含むSBGの子会社(以下併せて「SBファンド運用会社」)により運用されるいずれかのファンド(文脈に応じて、パラレル・ファンド、フィーダー・ファンド、共同投資ビークル又はオルタナティブ投資ビークルと併せて「SBファンド」)のリミテッド・パートナーシップ持分又は同等の有限責任持分の販売の申込み又は申込みの勧誘を行うものではなく、また、いかなる方法でもそのように依拠してはなりません。疑義を避けるために付言すると、SBファンドは、他のファンド同様、SBIAとその関係会社によって運用されているSoftBank Vision Fund L.P.(文脈に応じて、あらゆるパラレル・ファンド、フィーダー・ファンド、共同投資ビークル又はオルタナティブ投資ビークルと併せて以下「ビジョン・ファンド1」)、SBGAとその関係会社によって運用されているSoftBank Vision Fund II-2 L.P.(文脈に応じて、あらゆるパラレル・ファンド、フィーダー・ファンド、共同投資ビークル又はオルタナティブ投資ビークルと併せて以下「ビジョン・ファンド2」)及びSBGAとその関係会社によって運用されているSBLA Latin America Fund LLC(文脈に応じて、あらゆるパラレル・ファンド、フィーダー・ファンド、共同投資ビークル又はオルタナティブ投資ビークルと併せて以下「ラテンアメリカ・ファンド」)を含みます。

SBファンド(ビジョン・ファンド1及びビジョン・ファンド2並びにラテンアメリカ・ファンドを含む)、SBファンド運用会社、SBファンド運用会社により運用される後続又は将来のファンド、SBG又はそれぞれの関係会社のいずれも、本資料に記載されている情報の正確性又は完全性について、明示又は黙示であるにもかかわらずこれを表明又は保証するものではなく、また、本資料に記載されているパフォーマンスに関する情報はSBファンドその他本資料に言及される企業の過去若しくは将来のパフォーマンス又はSBファンド運用会社により運用される後続ファンド、将来組成されるファンドの将来のパフォーマンスについての確約又は表明として依拠してはなりません。

SBファンドその他本資料に言及される企業のパフォーマンスに関する情報は、背景説明のみを目的として記載されるものであり、関連するSBファンド、本資料に言及されるその他のファンド又はSBファンド運用会社により将来運用されるファンドの将来のパフォーマンスを示すものとして考慮されるべきではありません。SBファンドの特定の投資対象に関する情報への言及は、それに含まれる範囲において、関連するSBファンド運用会社の投資プロセス及び運用方針を説明することのみを目的として述べられたものであり、特定の投資対象又は証券の推奨として解釈してはなりません。SBファンドのパフォーマンスは各個別の投資においてそれぞれ異なる可能性があり、個別に言及した取引のパフォーマンスは、必ずしも全ての適用される従前の投資のパフォーマンスを示唆するものではありません。本資料において記載及び説明される特定の投資は、関連するSBファンド運用会社が行う全ての投資を示すものではなく、本資料において記載及び検討される投資が利益を生んだ又は将来利益を生むと仮定すべきではありません。

本資料に記載されるSBファンドのパフォーマンスは、ポートフォリオ投資の未実現の評価額に基づくものです。未実現の投資評価額は、関連するSBファンド運用会社がそれぞれ特定の投資に関する状況に基づき合理的とみなす前提及び要因(例えば、評価日現在における類似の会社の平均株価収益率その他勘案事項等を含みます。)に基づくものです。しかしながら、未実現の投資評価額が本資料に記載されている金額又は本資料に記載されているリターンを算定するために用いられる金額で実現されるという保証はありません。また、かかる実現に関連する取引費用が未知であるため、当該取引費用は、かかる算定に含まれません。未実現額の見積りは、常に変化する多くの不確定要素の影響を受けます。関連するSBファンドの未実現の投資に対する実際の実現リターンは、いくつか要因がある中で特に、将来の運用実績、処分時の資産価格及び市況、関連する取引費用並びに売却の時期及び方法によって決まるものであり、これらの要因は全て、関連するSBファンド運用会社の評価の根拠となった前提及び状況と異なる可能性があります。

過去のパフォーマンスは、必ずしも将来の実績を示すものではありません。SBファンド又はSBファンド運用会社により運用される将来のファンドのパフォーマンスは、本資料に示されるパフォーマンス情報よりも大幅に低くなる可能性があります。各SBファンド又は関連するSBファンド運用会社により運用されるいずれか将来のファンドが、本資料に示される実績と同等の実績を達成するという保証はありません。

本資料に記載される第三者のロゴ及びベンダー情報は、説明目的のためにのみ提供されるものです。かかるロゴの記載は、かかる企業又は事業との提携又はその承認を示唆するものではありません。SBファンド運用会社、SBファンドのポートフォリオ会社、SBファンド運用会社により運用される将来のファンドの将来のポートフォリオ会社、又はSBGが、本資料に記載されるロゴを有する企業又は事業のいずれかと今後業務を行うという保証はありません。

SBGA及びSBIAは、ビジョン・ファンド1、ビジョン・ファンド2及びラテンアメリカファンドの運用に、相互にSBGからそれぞれ別個独立した業務プロセスを採っています。SBGA又はSBIAによって運用されるSBファンドは、それぞれSBGA単独又はSBIA単独で運用されています。



2023年9月14日

arm

今年最大の相場

アーム IPO サマリー

9月14日

Nasdaq Global Select Marketに上場

\$5,123M

本売出しによるSBGの手取金

1ADS当たり

\$51.00

公開価格 - 仮条件(\$47.00~\$51.00)の上限

\$52B

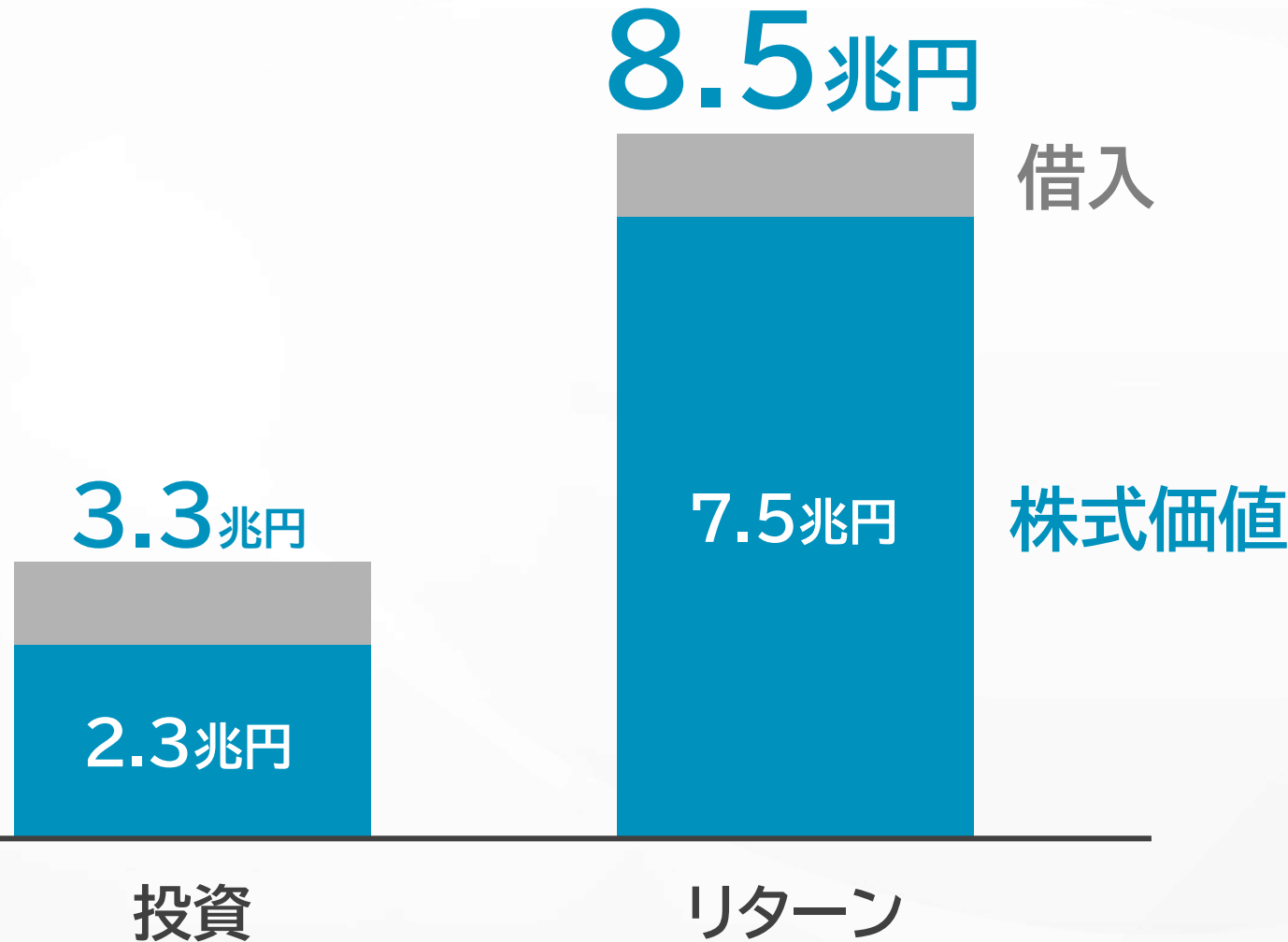
上場時 時価総額

90.0%

IPO後のSBGによる保有株式割合

上場時時価総額: 2023年9月末のアームの発行済株式総数(希薄化前、自己株式を除く)1,025,234,000株に1ADS当たり公開価格を乗じて算出
IPO後のSBGによる保有株式割合: 2023年9月末のアームの発行済株式総数(希薄化前、自己株式を除く)1,025,234,000株に基づき算出
アームの新規株式公開の詳細については、2023年9月19日付当社プレスリリース「Armによる新規株式公開の引渡完了(クロージング)及び引受人によるADS追加取得オプションの全行使に関するお知らせ」を参照

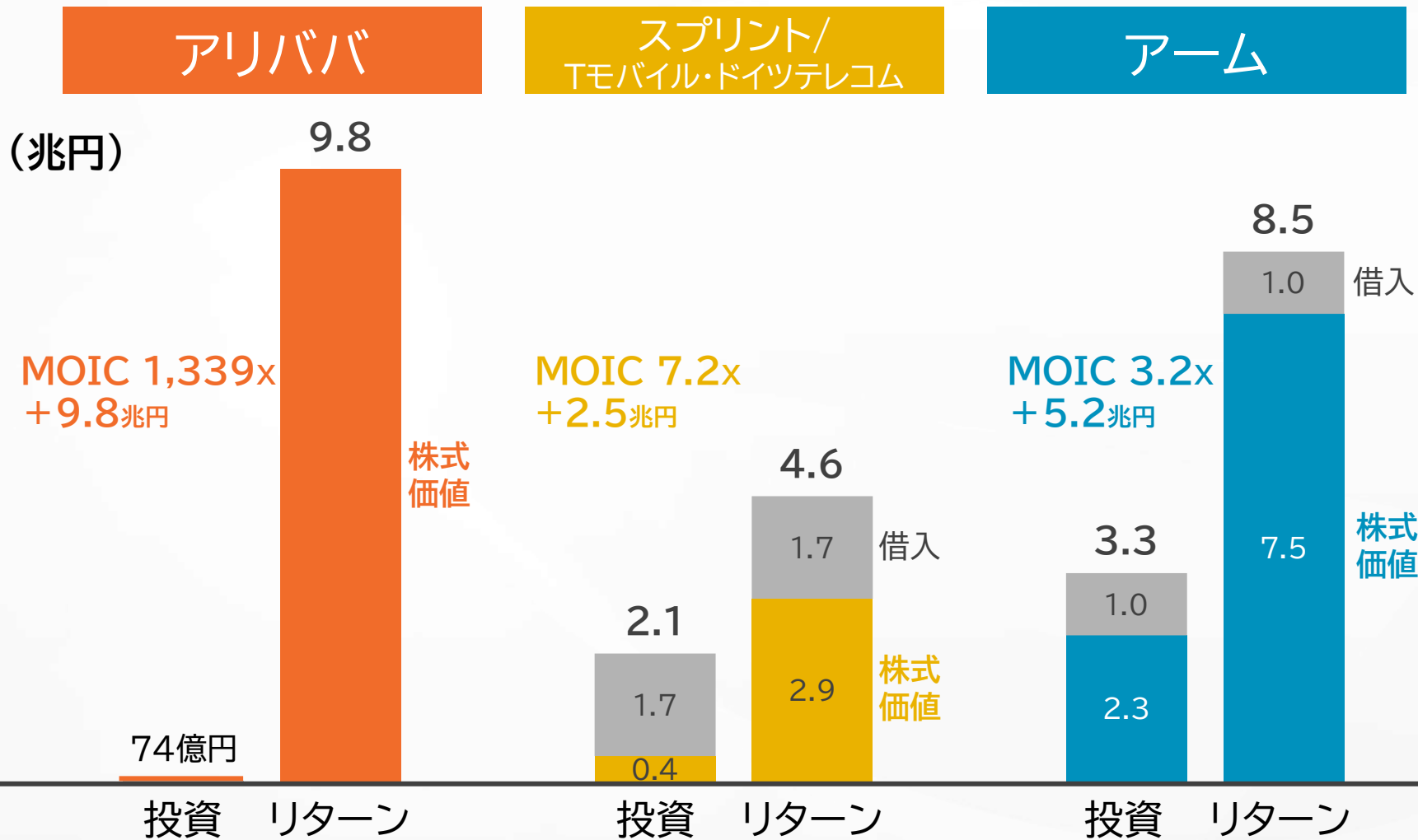
アーム投資の実績



株式MOIC
3.2倍

- 投資およびリターン: 各取引日または評価日における為替レートにより円換算
- 株式MOIC: 初回投資実施から2023年9月30日までの株式価値に係る投資およびリターンをもとに算出。税金考慮前
- 投資: 附随費用を含まない。また、SBGとSVFとの間で実施したグループ内取引の影響を含まない
- リターン: 株式価値は、アームIPOにおける株式売り出しによる手取り額(SBGで発生した関連費用を除く)と、2023年9月30日時点の保有株式価値(保有する株式数に同月末終値を乗じて算出)の合計から借入を除いた金額
- 借入: 日本円による買収時の調達額(2016年9月実行)

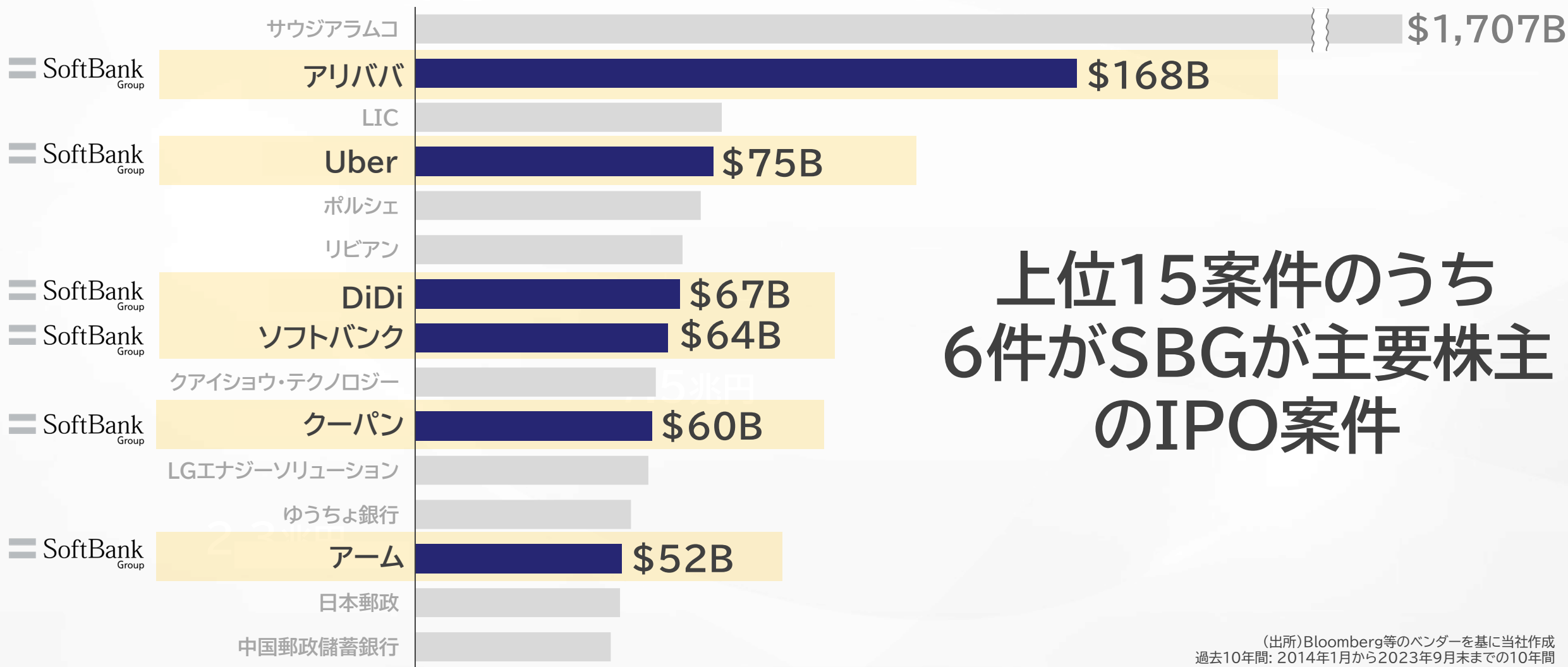
投資のトラックレコード



アームの成功は
過去の大型投資
に遜色なし
更なる成長に
期待

- 投資およびリターン：各取引日または評価日における為替レートにより円換算
- MOIC：初回投資実施から2023年9月30日までの株式価値に係る投資およびリターンをもとに算出。税金考慮前
- 投資：附随費用を含まない。アームについては、SBGとSVFとの間で実施したグループ内取引の影響を含まない
- リターン
 - ・ アリババ：アリババ株式の売却およびデリバティブ取引による資金化済みの金額（取引に係るコストを除く）と、2023年9月30日時点の保有株式価値（保有する株式数に同月末終値を乗じて算出）の合計
 - ・ スプリント/Tモバイル・ドイツテレコム：株式価値は、以下、(a)~(d)の合計から借入を除いた金額
 - (a) Tモバイル株式の売却、またはTモバイル株式およびドイツテレコム株式のデリバティブ取引による資金化済みの金額（取引に係るコストを除く）
 - (b) 2023年9月30日時点の保有株式価値（保有する株式数に同月末終値を乗じて算出。ただし、デリバティブで調達済みの価値を除く）
 - (c) Tモバイル株式の条件付対価の価値（Tモバイル普通株式の45日間の出来高加重平均価格が、2022年4月1日から2025年12月31日の期間に\$149.35以上となった場合に、SBGが無償で取得できるTモバイル株式(48,751,557株)の公正価値)
 - (d) ドイツテレコム株式の配当により受領した金額
 - ・ アーム：株式価値は、アームIPOにおける株式売り出しによる手取り額（SBGで発生した関連費用を除く）と、2023年9月30日時点の保有株式価値（保有する株式数に同月末終値を乗じて算出）の合計から借入を除いた金額
- 借入：日本円による買収時の調達額

IPO時 時価総額グローバル上位15案件 (過去10年間)



上位15案件のうち
6件がSBGが主要株主
のIPO案件

(出所) Bloomberg等のベンダーを基に当社作成
過去10年間: 2014年1月から2023年9月末までの10年間
LIC: ライフ・インシュアランス・コーポレーション・オブ・インディアの略称
主要株主: 上場時時点でSBGおよび子会社が株主として関与

連結業績

連結業績

(億円)

	2022年度 上期	2023年度 上期	増減額
売上高	31,825	32,271	+446
投資損益	-8,496	-9,636	-1,140
税引前利益	2,926	-9,074	-12,001
純利益	-1,291	-14,087	-12,796

アーム株式の取引について

①SVF1からの株式取得の会計処理

- 2023年8月、SVF1から25%相当の株式を取得
- 子会社株式のグループ内取引のためSVFで計上される**売却益は連結消去**
- 売却益のうち外部投資家に帰属する持分は連結F/Sに残る

連結P/L

売却益は連結消去で計上なし

外部投資家持分の増加額

2,263億円
費用の増加

(アーム以外に係る金額含む)

連結B/S

外部投資家持分

2,263億円
負債の増加

(アーム以外に係る金額含む)

アーム株式の取引について

②IPOに伴う売出しの会計処理

- IPO後も90%保有のため引き続き子会社として連結
- 売却益相当額はP/Lには計上されず、B/S資本の部に計上

連結P/L

影響なし

(子会社継続のため)

連結B/S

キャッシュ +7,451億円
(手取金)

資本剰余金 +6,744億円
(売却益相当額)

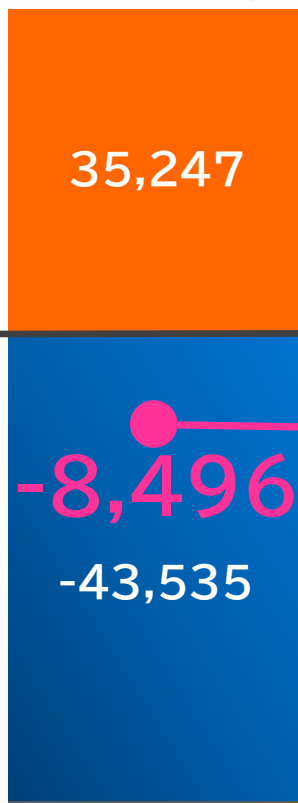
非支配持分 +707億円
(10%相当分)

投資損益

(億円)

- 持株会社投資事業
- SVF事業
- その他
- 連結

主にアリババ株式先渡売買契約
決済関連利益

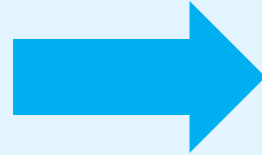


SVFは 損失額縮小

税引前利益

SVF外部投資家持分(純利益にも同額影響)

10,187億円
プラス影響



2,263億円
マイナス影響

(億円)

2,926

2022年度
上期

-9,074

2023年度
上期

SVF外部投資家
持分変動が
1.2兆円の悪化要因

純利益:親会社の所有者に帰属する純利益
SVF外部投資家持分変動:SVFにおける外部投資家持分の増減額

重要指標

本資料において端数処理の関係上、合計と内訳が一致しない場合がある。
本セクションにおける「SBG単体」の財務数値は、連結グループから独立採算子会社を除いた数値。独立採算子会社は、ソフトバンク、SVF1、SVF2、LatAmファンド、アーム等

重要指標の変動 (2023年度Q2)

2023年6月末

2023年9月末

NAV
(時価純資産)

15.5兆円

16.4兆円

LTV
(純負債 / 保有株式価値)

8.0%

10.6%

手元流動性

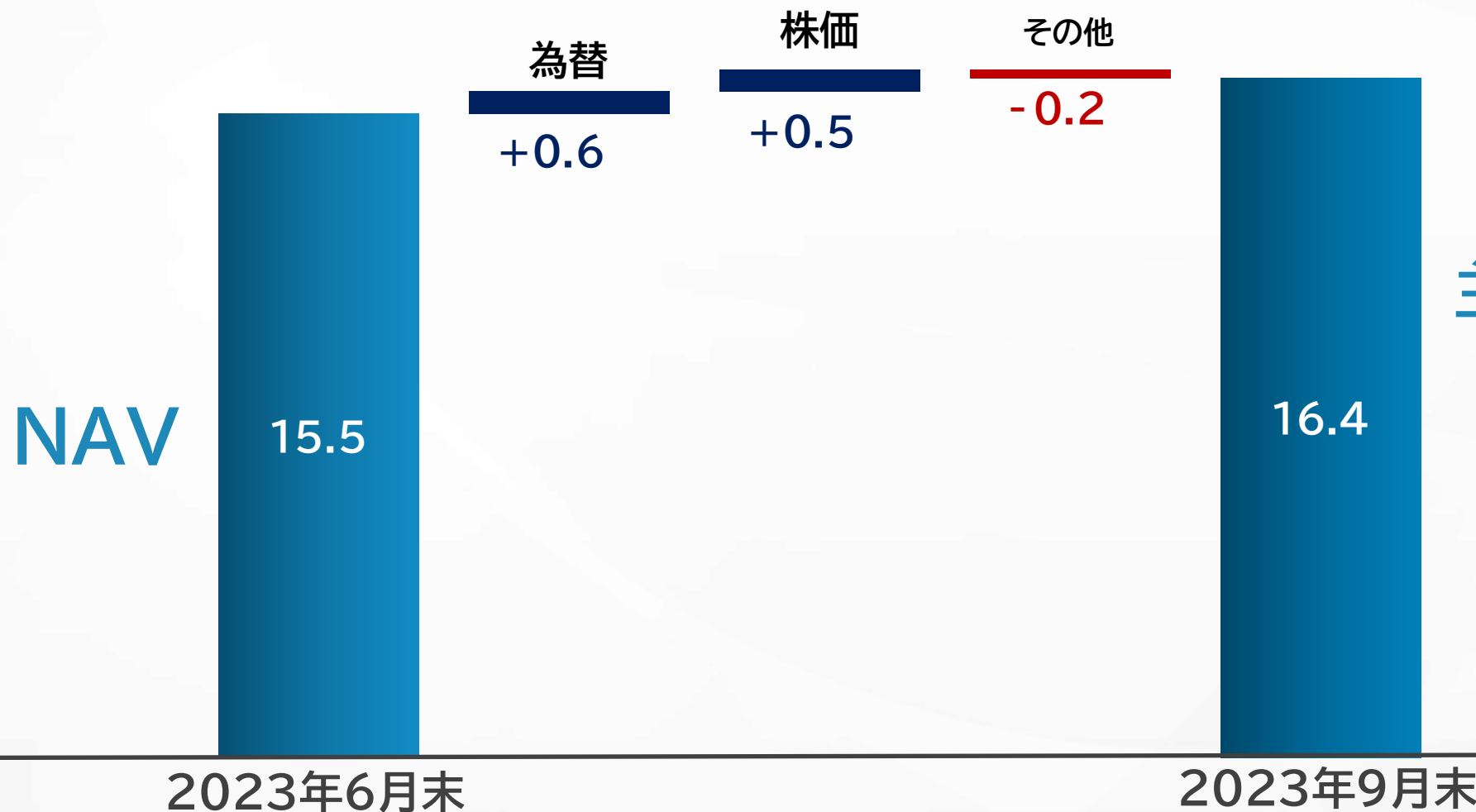
5.8兆円

5.1兆円

NAVおよびLTVの詳細は、Appendix「NAV・LTVの定義及び算出方法(2023年6月末時点)」 「NAV・LTVの定義及び算出方法(2023年9月末時点)」を参照
手元流動性 = 現金及び現金同等物 + 流動資産に含まれる短期投資 + 国債投資 + コミットメントライン未使用枠。SBG単体ベース(SB Northstarを除く。ただし現金及び現金同等物は含む。)

NAV増減要因

(兆円)

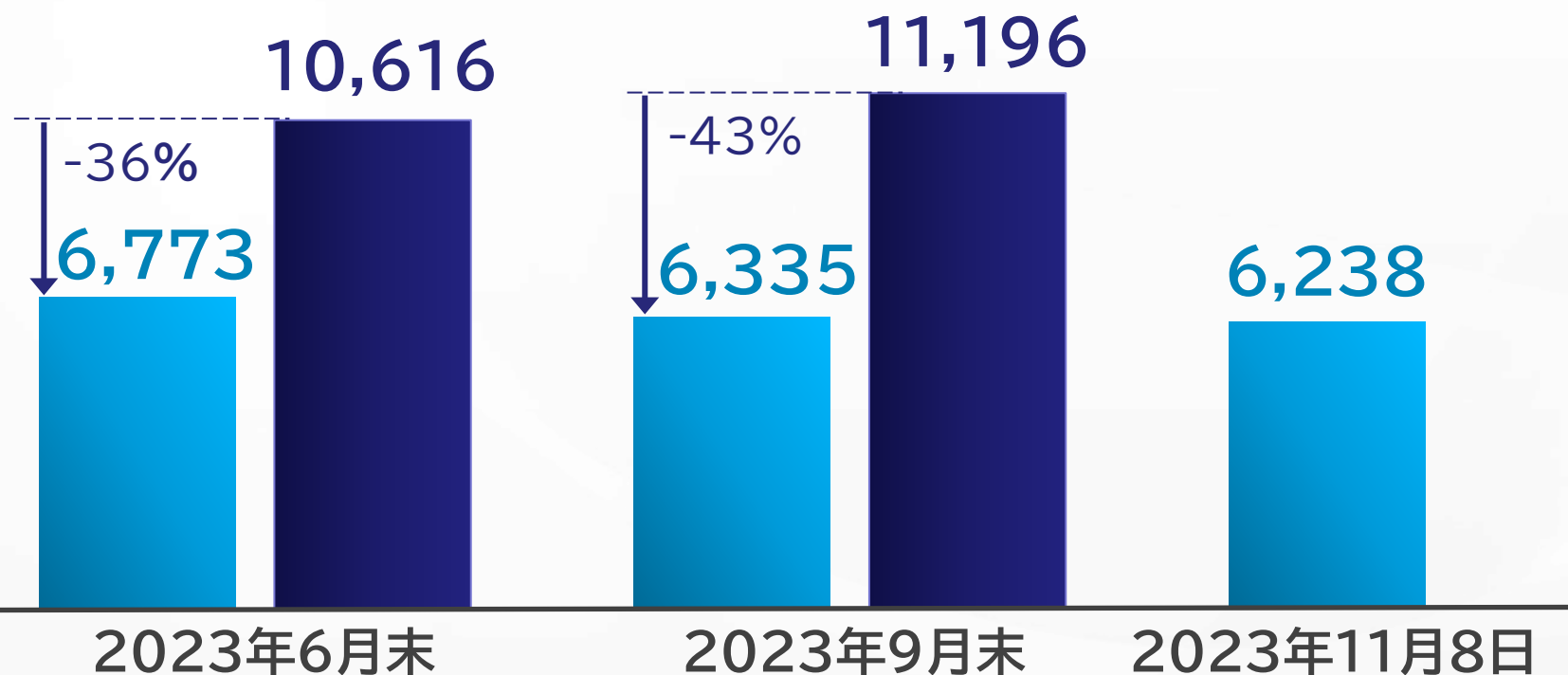


主に為替/株価要因で
0.9兆円増

1株当たりNAVと株価

(円)

■ 株価 ■ 1株当たりNAV

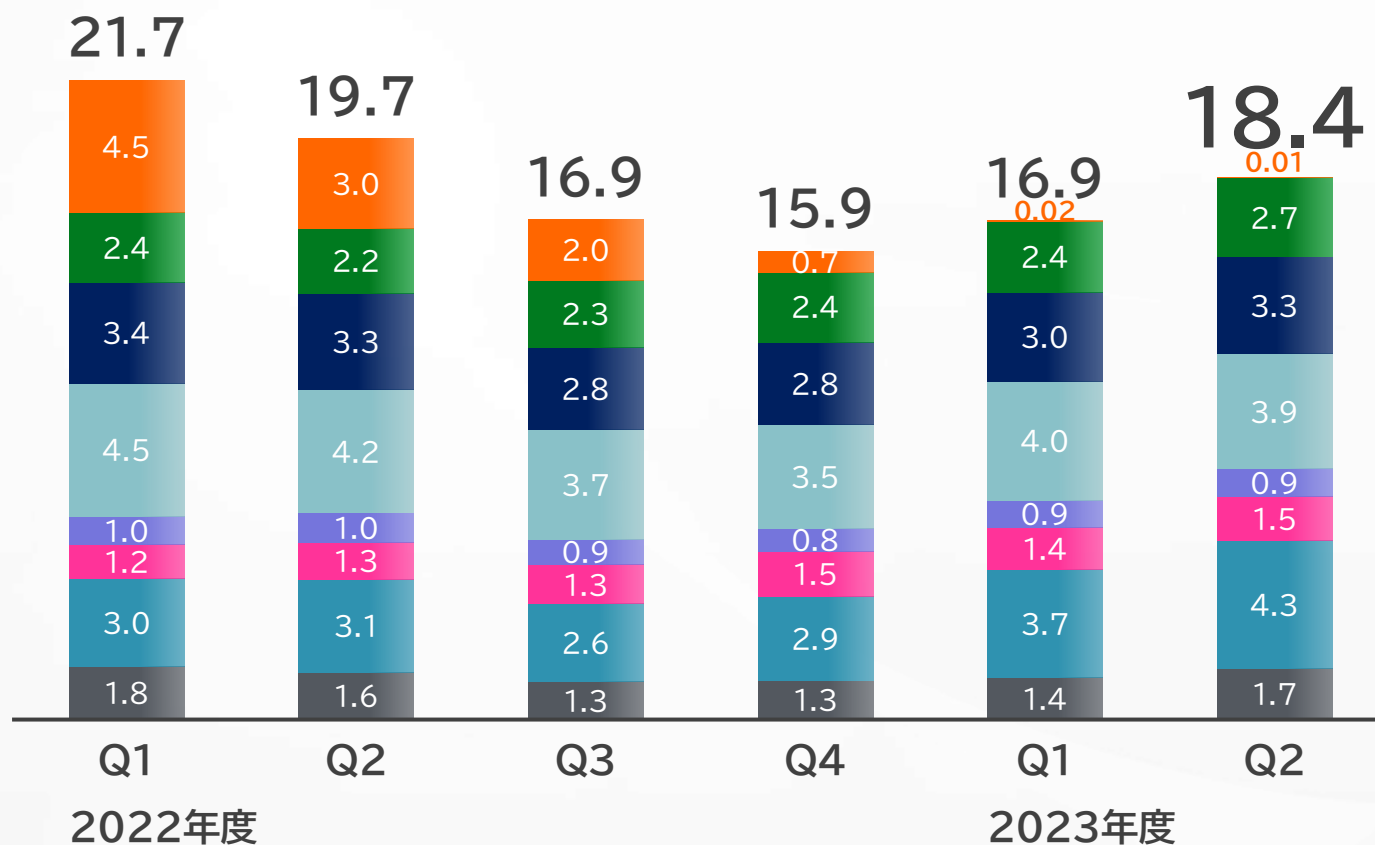


NAVの詳細は、Appendix「NAV・LTVの定義及び算出方法(2023年6月末時点)」 「NAV・LTVの定義及び算出方法(2023年9月末時点)」を参照
1株当たりNAV = NAV ÷ 発行済株式総数(自己株式を除く)

保有株式価値

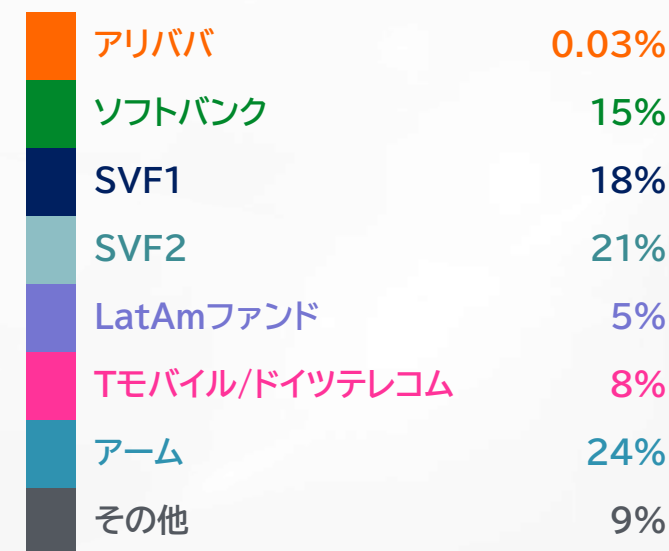
(兆円)

アセットバック・ファイナンス除く



アームを中心に 株式価値増

構成比(2023年9月末時点)

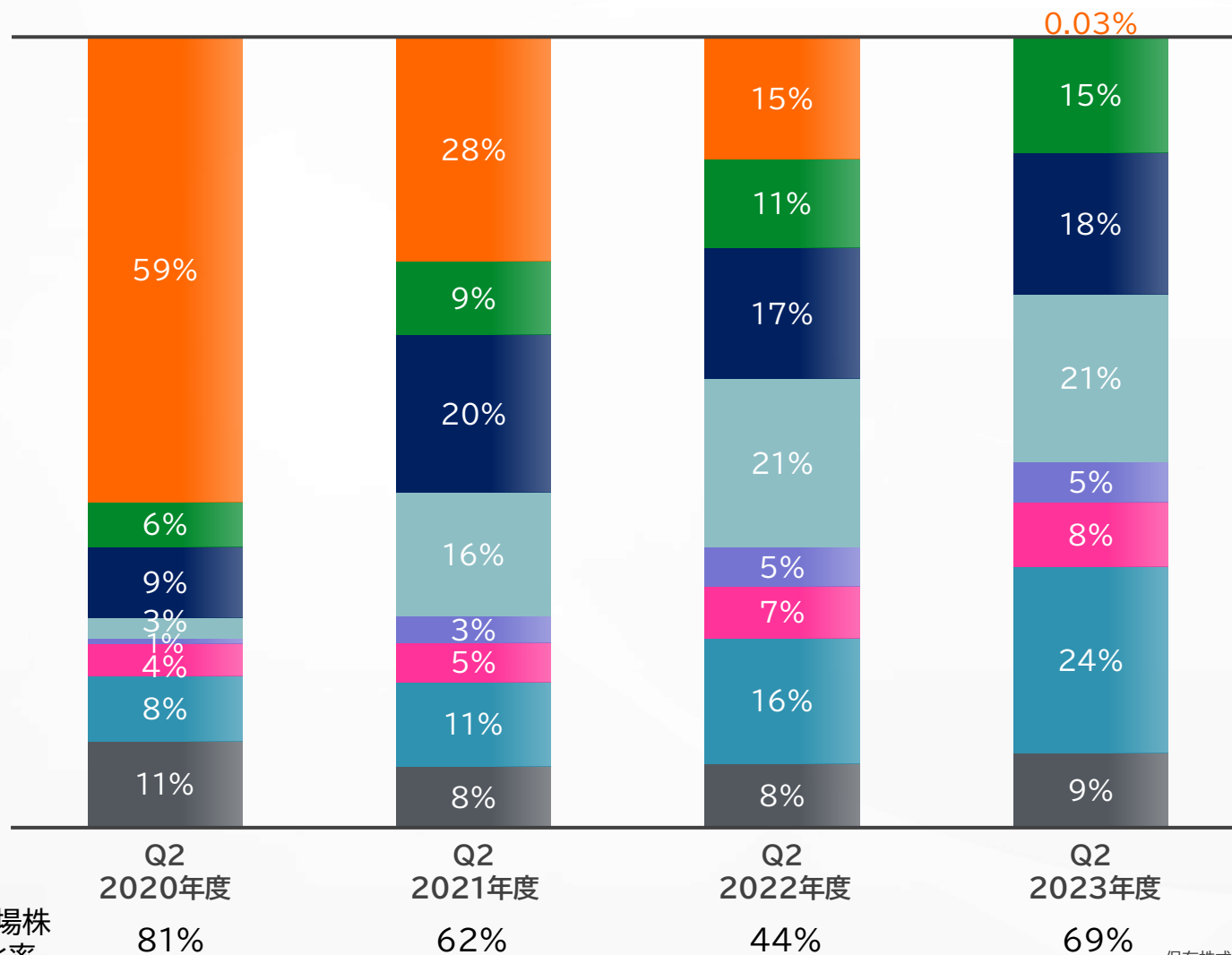


保有株式価値の算出方法については、各四半期決算説明会プレゼンテーション資料に記載の「NAV・LTVの定義及び算出方法」を参照

各四半期末時点

保有株式価値

アセットバック・ファイナンス除く



ポートフォリオ分散化 地政学リスクにも対応

2020年9月末時点 ▶ 2023年9月末時点

	2020年9月末時点	2023年9月末時点
アリババ	59%	0.03%
ソフトバンク	6%	15%
SVF1	9%	18%
SVF2	3%	21%
LatAmファンド	1%	5%
Tモバイル/ドイツテレコム	4%	8%
アーム	8%	24%
その他	11%	9%

上場株
比率

Q2
2020年度
81%

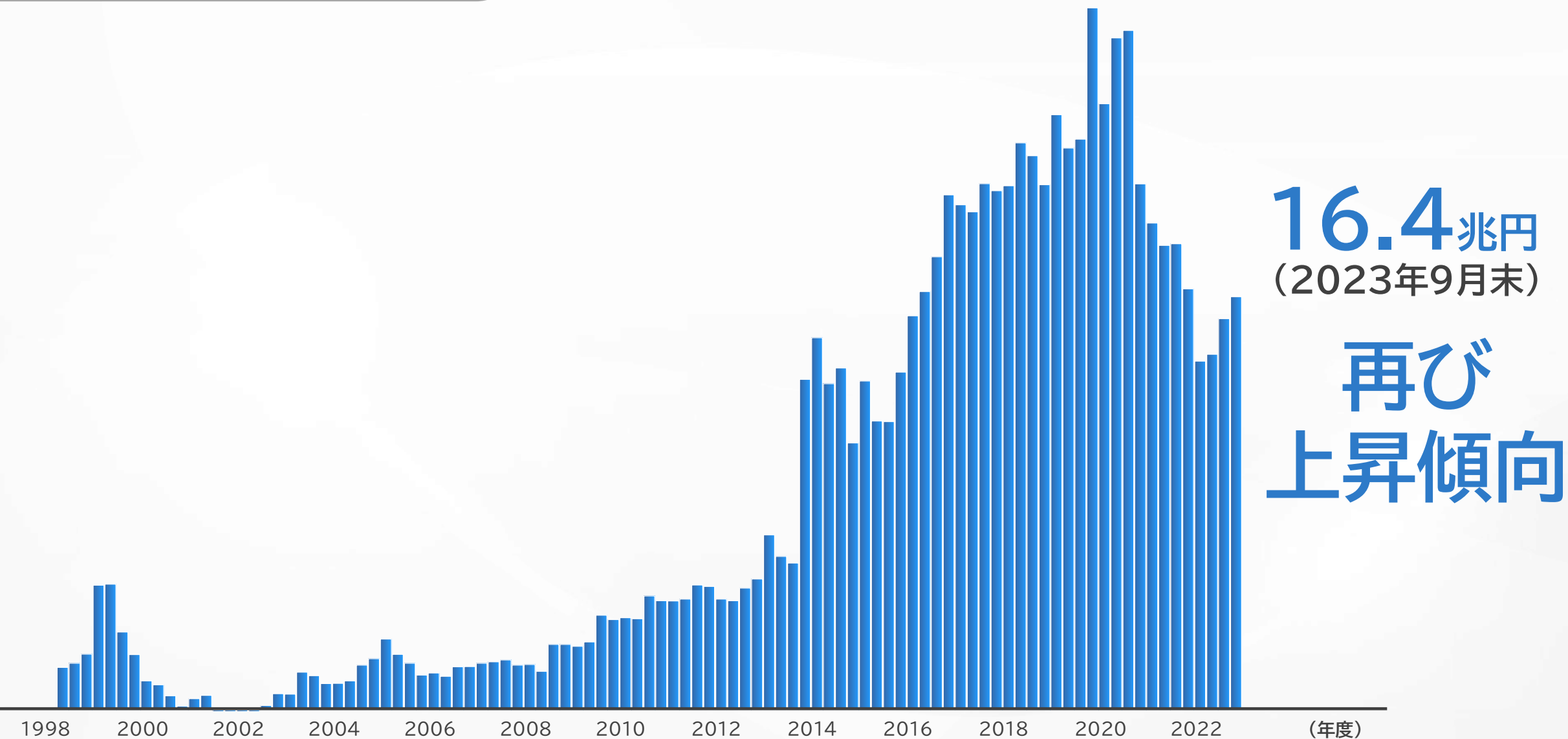
Q2
2021年度
62%

Q2
2022年度
44%

Q2
2023年度
69%

各四半期末時点
保有株式価値の算出方法については、各四半期決算説明会プレゼンテーション資料に記載の「NAV・LTVの定義及び算出方法」を参照
上場株式比率: アリババ、SVF1、SVF2およびLatAmファンドが保有する上場株式、アーム、ソフトバンク、Tモバイル、ドイツテレコム、
およびその他のうちの上場株式を含む(ただし、SVF1、SVF2およびLatAmファンドはSBGの持分のみを含む)。

NAVの推移

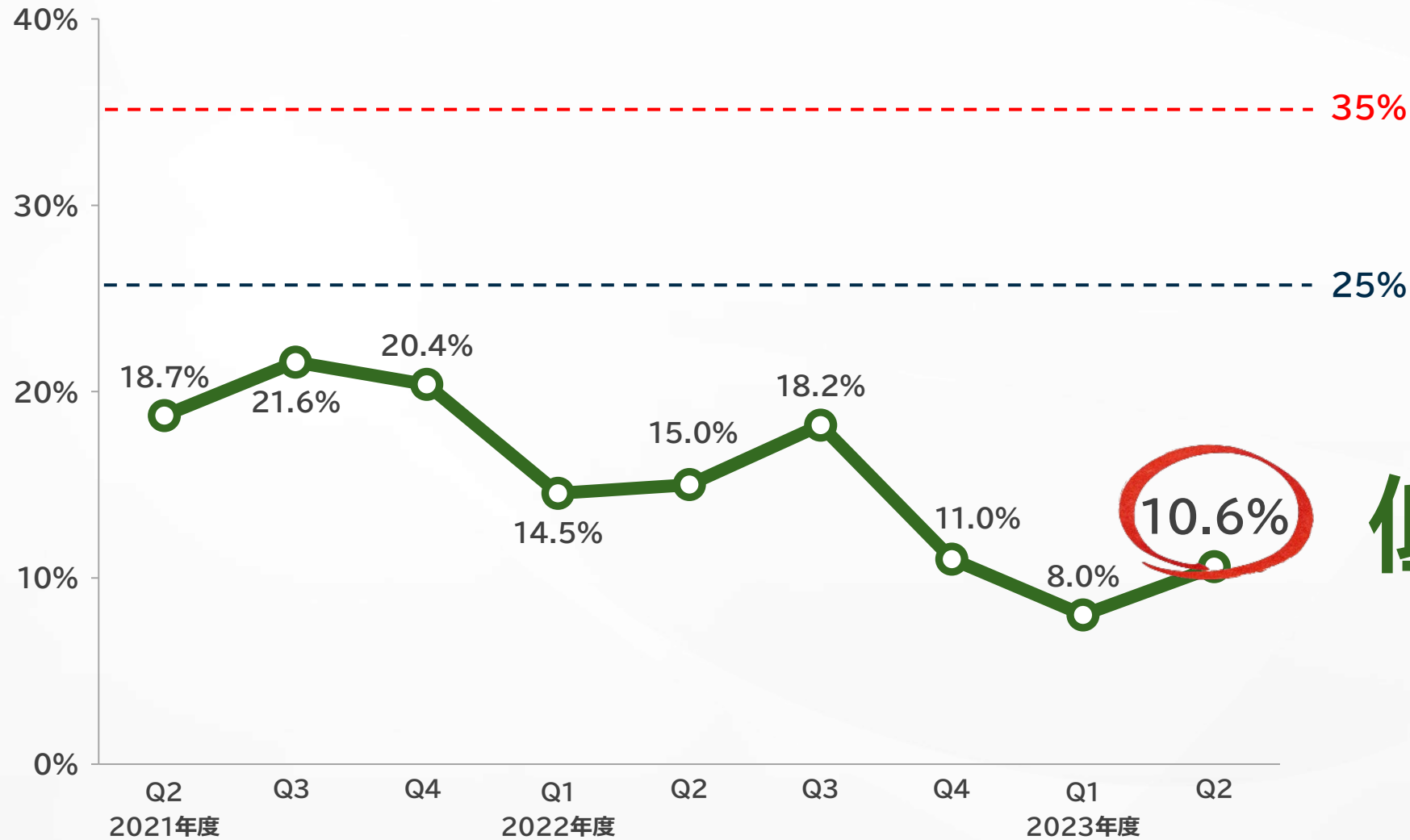


NAVの詳細は、Appendix「NAV・LTVの定義及び算出方法(2023年9月末時点)」を参照
NAVに関する情報は、推移のイメージを説明する目的で提供される参考値であり、将来のNAVを保証・示唆するものではない。

各四半期末時点

LTVの推移

アセットバック・ファイナンス除く

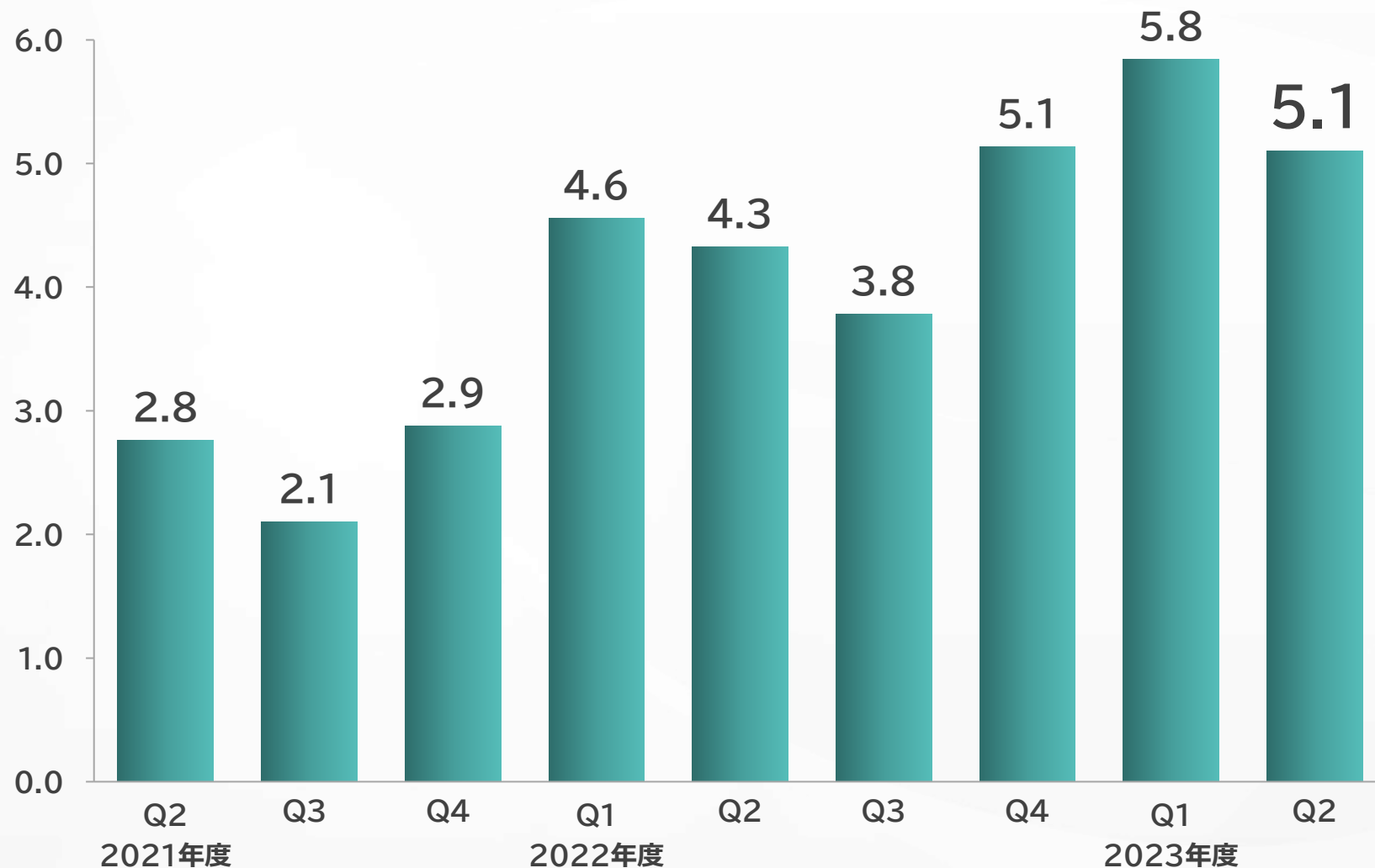


低水準で推移

各四半期末時点
LTVの算出方法については、各四半期決算説明会プレゼンテーション資料に記載の「NAV・LTVの定義及び算出方法」を参照

手元流動性の推移

(兆円)



高水準を維持

各四半期末時点
手元流動性 = 現金及び現金同等物 + 流動資産に含まれる短期投資 + 国債投資 + コミットメントライン未使用枠。SBG単体ベース (SB Northstarを除く。ただし現金及び現金同等物は含む。)

為替影響 (2023年度上期)

円安はNAVと資本にプラスの影響

NAVへの影響

+1.9兆円

会計への影響

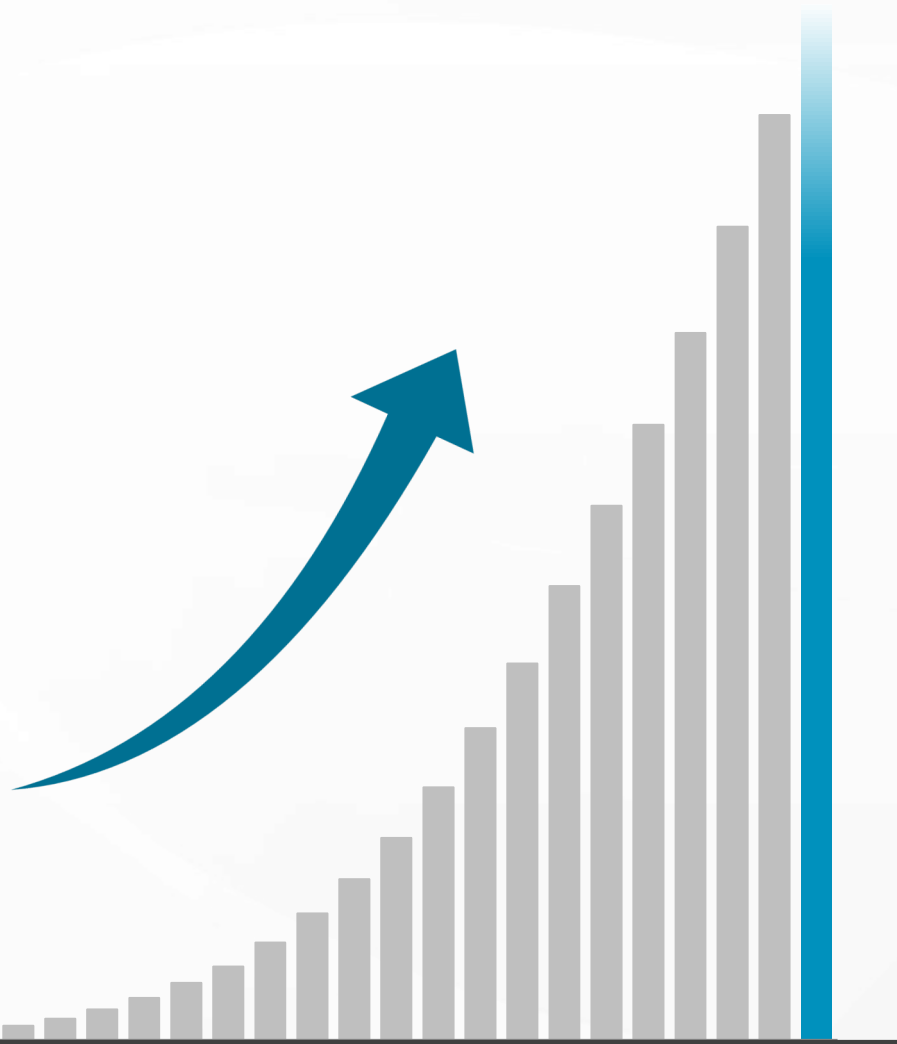
資本
+1.8兆円

連結純利益
-0.6兆円

Arm

アームベースチップ出荷数

(億個)



2023年6月までの累計出荷実績

2,700億個+

2023年1~6月出荷実績

139億個











1990

2023 (暦年)

(出所) Arm
アームベースチップの出荷実績は、出荷の発生から1四半期遅れでライセンスから報告を受けるため、本頁における出荷実績は、2023年6月までの出荷実績を掲載

成長市場における収益機会



		市場シェア (2020 ~ 2022)	2025 TAM (予想)	TAM CAGR (2022 ~ 2025予)
	モバイル	 >99% >99%	\$36B	6%
	クラウド	 7% 10%	\$28B	17%
	オートモーティブ	 33% 41%	\$29B	16%
	IoT 組込機器	 58% 65%	\$50B	7%
	全ての収益機会	 42% 49%	\$247B	7%

(出所) Arm F-1
 市場シェア: 金額ベース
 TAM: Total Addressable Market (獲得可能な最大の市場規模)
 IoT: 産業用IoTおよび組み込みプロセッサ

全ての収益機会: 上記の表で表示されていない「その他モバイル」、「コンシューマーエレクトロニクス」、「ネットワーク機器」、および「その他インフラ」を含む

アームのターゲット市場

コンシューマー向け端末

モバイル機器
ノートパソコン、タブレット端末
デジタルTV、ウェアラブル、VR等

オートモーティブ

先進運転支援システム
自動運転
デジタルコックピット等

インフラ

クラウド/サーバー
5G無線ネットワーク機器等

IoT

製造装置、
都市インフラ管理システム
ビル管理設備等

アームのターゲット市場

コンシューマー向け端末

オートモーティブ

AI

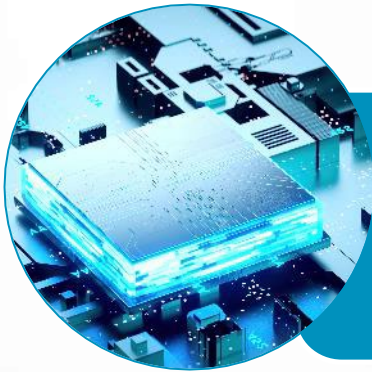
インフラ

IoT

業界リーダーとの戦略が進展



Googleの最新スマートフォンPixel 8は
アームの最新世代テクノロジーArmv9ベース



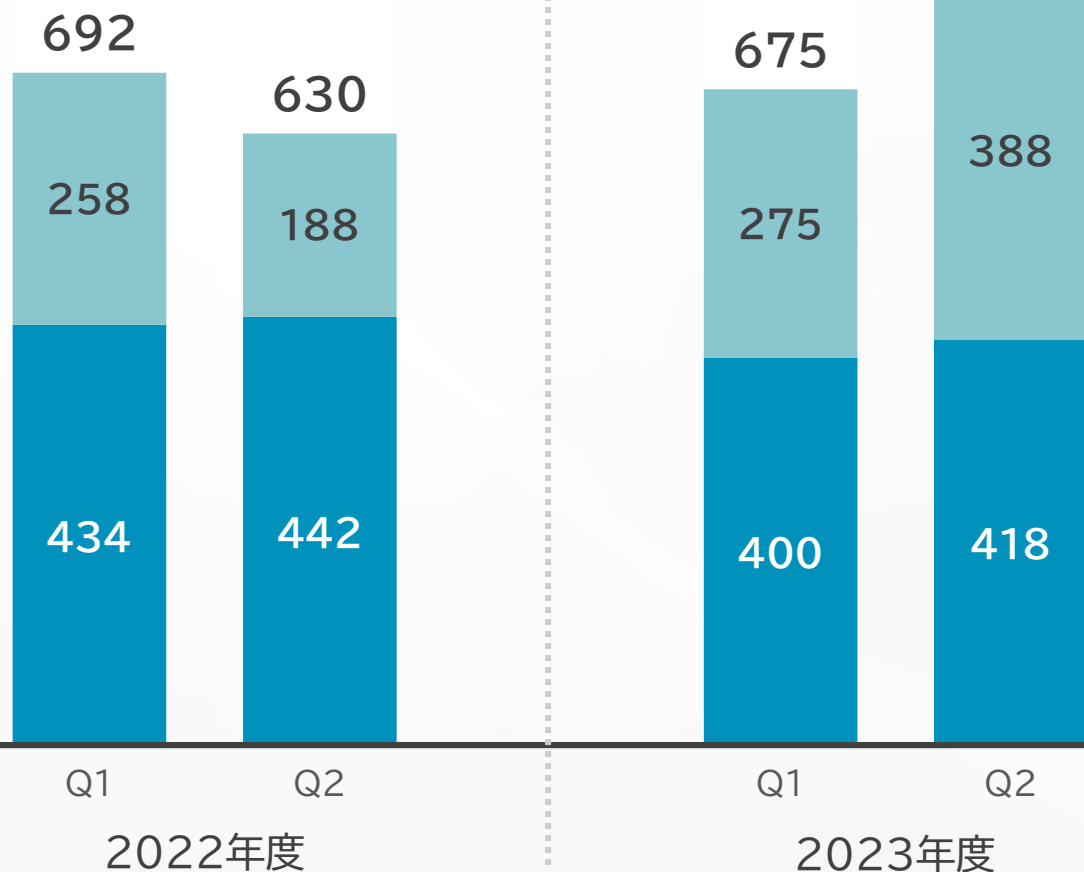
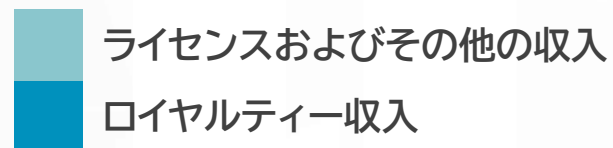
NVIDIA、アームベース「GH200 Grace
Hopper Superchip」の第2世代を発表



ルネサスエレクトロニクス、自動運転向けの次
世代チップにアームテクノロジーの採用を発表

四半期売上高（米国会計基準）

(\$ M)



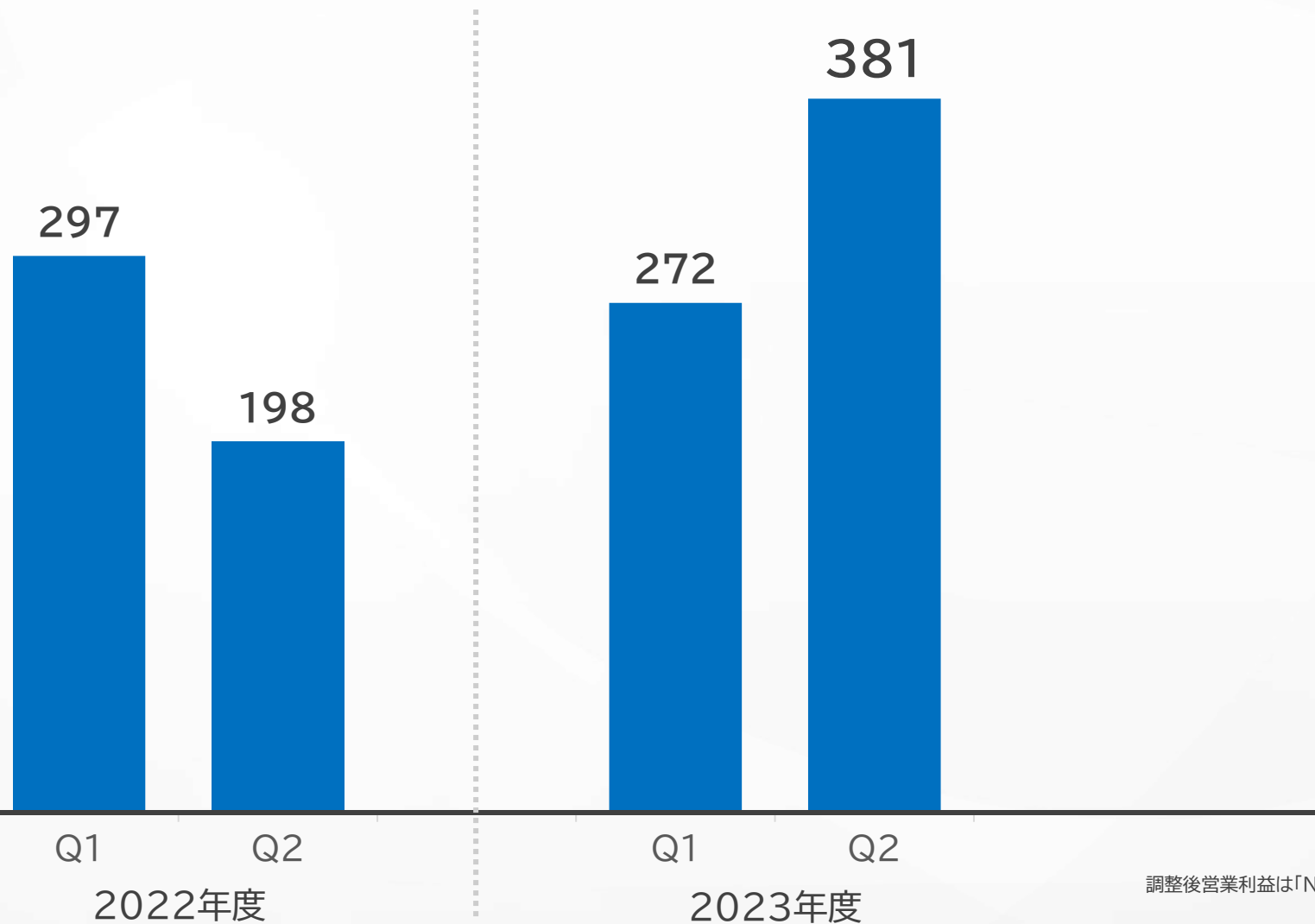
上場後初の四半期は
過去最高の売上に

高額ライセンス契約
を複数締結

調整後営業利益（米国会計基準）



(\$ M)



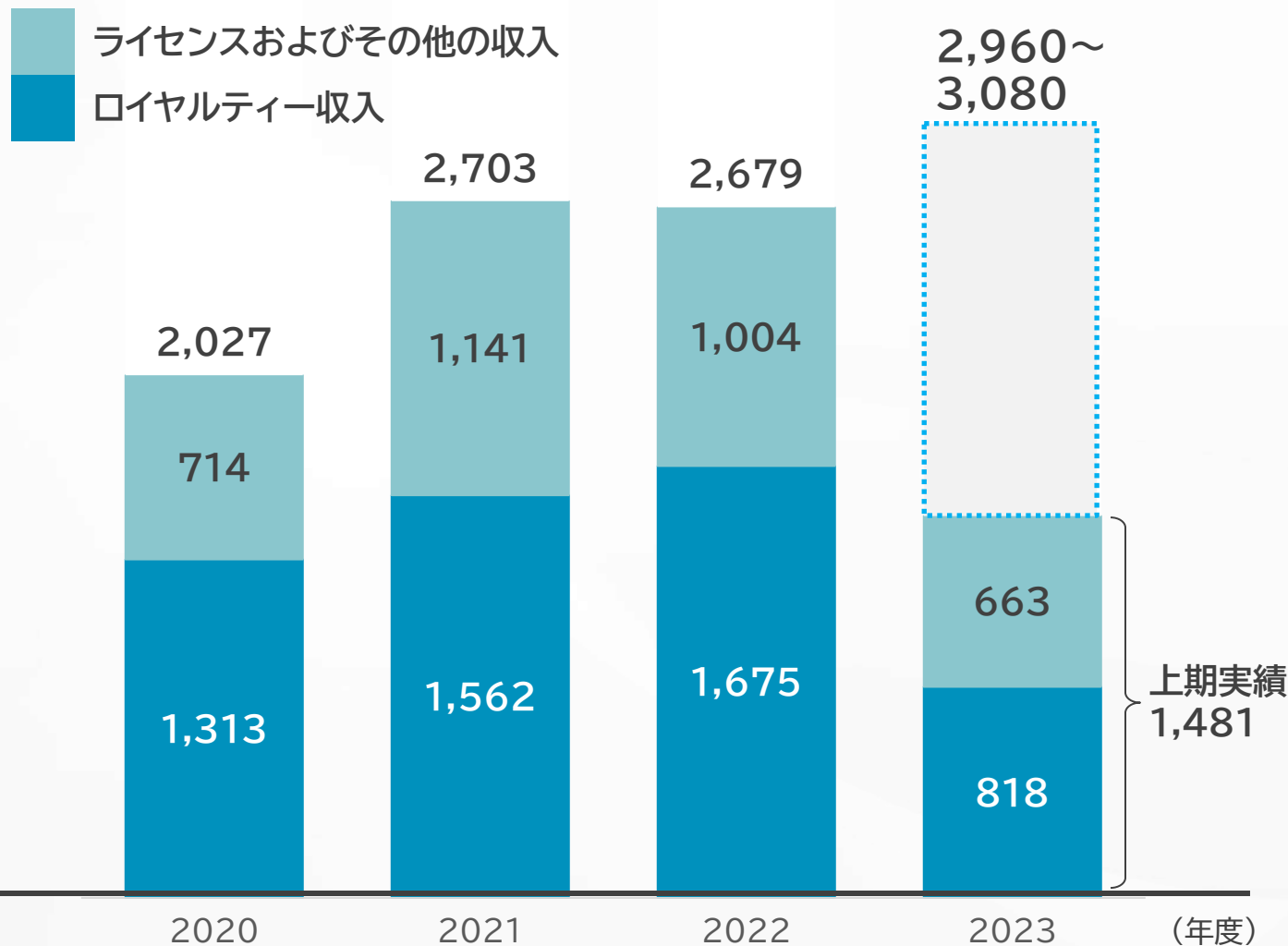
前年同期比
92%増

力強く成長

(出所) Arm
調整後営業利益は「Non-GAAP Operating Profit」を示す。GAAP基準数値とNon-GAAP数値間の差異については、アームの「FYE24-Q2 Shareholder Letter」を参照
詳細は、Arm Investor Relations (<https://investors.arm.com/>)を参照

年間売上高（米国会計基準）

(\$ M)



半導体市場は
弱含むも、
アームの売上高は
堅調に推移

会社ガイダンス

業績ガイダンス（米国会計基準）



- アームはライセンス契約のパイプラインを十分に把握。ただし、タイミングや契約規模などは変動する可能性あり
- アナリストは、半導体業界の継続的な回復トレンドを見込む。ただし、回復の道筋には不確定要素あり

	2023年度 Q3（予）	2023年度 通期（予）
売上高	\$720M - \$800M	\$2,960M - \$3,080M
調整後営業費用	~\$460M	~\$1,765M
調整後EPS (完全希薄化後)	\$0.21 - \$0.28	\$1.00 - \$1.10

（出所）Arm
調整後営業費用は「Non-GAAP operating expense」、調整後EPS(完全希薄化後)は「Non-GAAP fully diluted earnings per share」を示す
アームの2023年度通期調整後営業費用ガイダンスには、同社のIPOに伴う特定の株式報酬のバッシングに関連するものとして、第4四半期における約4,500万米ドルの一時的な社会保障税の増加を含む
詳細は、Arm Investor Relations (<https://investors.arm.com/>)を参照

SoftBank Vision Fund

SVF: 投資損益 (2023年度Q2)

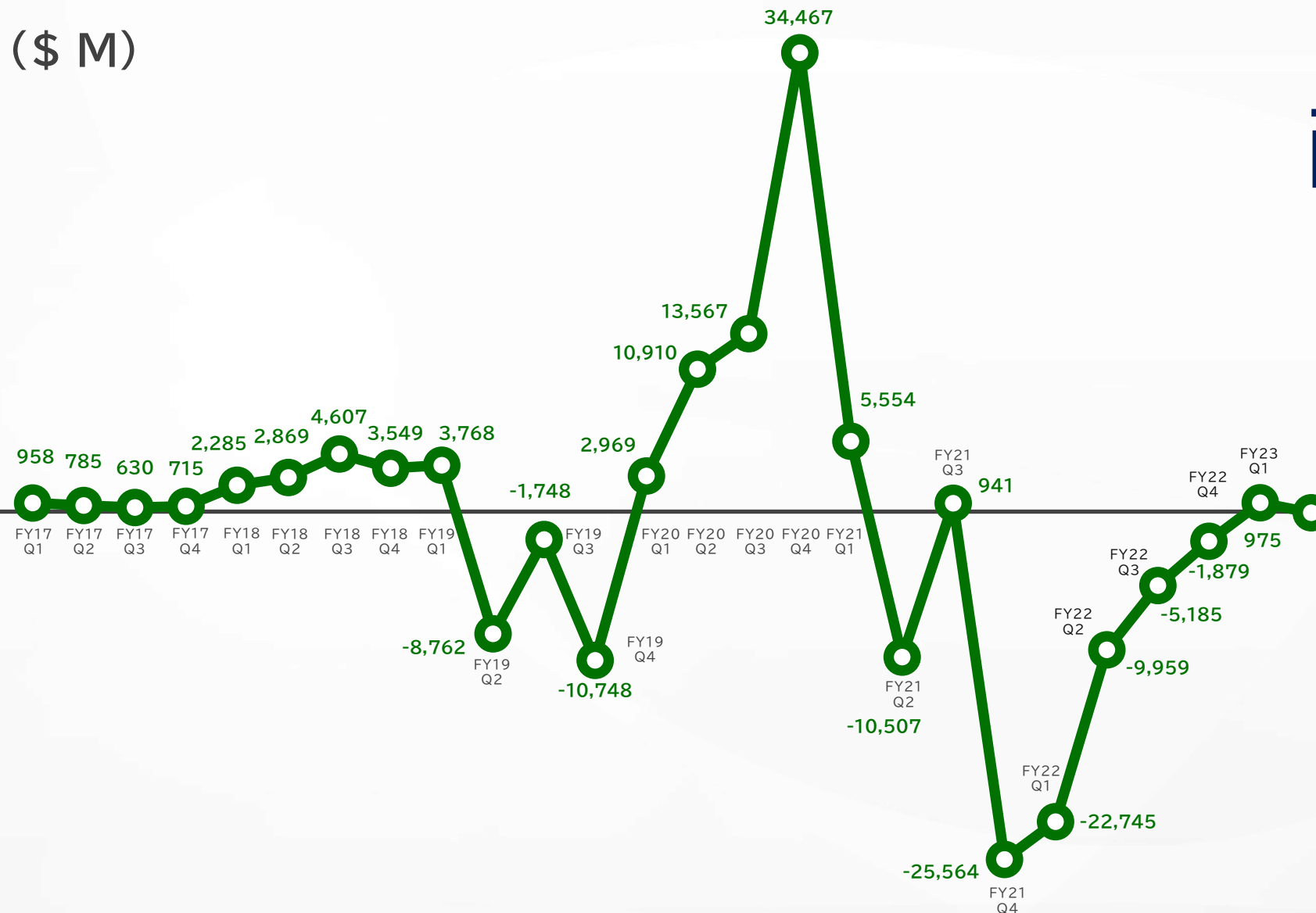
USDベース
(SVF1+SVF2+LatAmファンド)

合計	SVF1	SVF2	LatAmファンド
+\$232M	+\$2,413M	-\$2,084M	-\$97M

SVF: 投資損益 (四半期)

USDベース
(SVF1+SVF2+LatAmファンド)

(\$ M)



直近2四半期 連続の黒字

FY23Q2
232

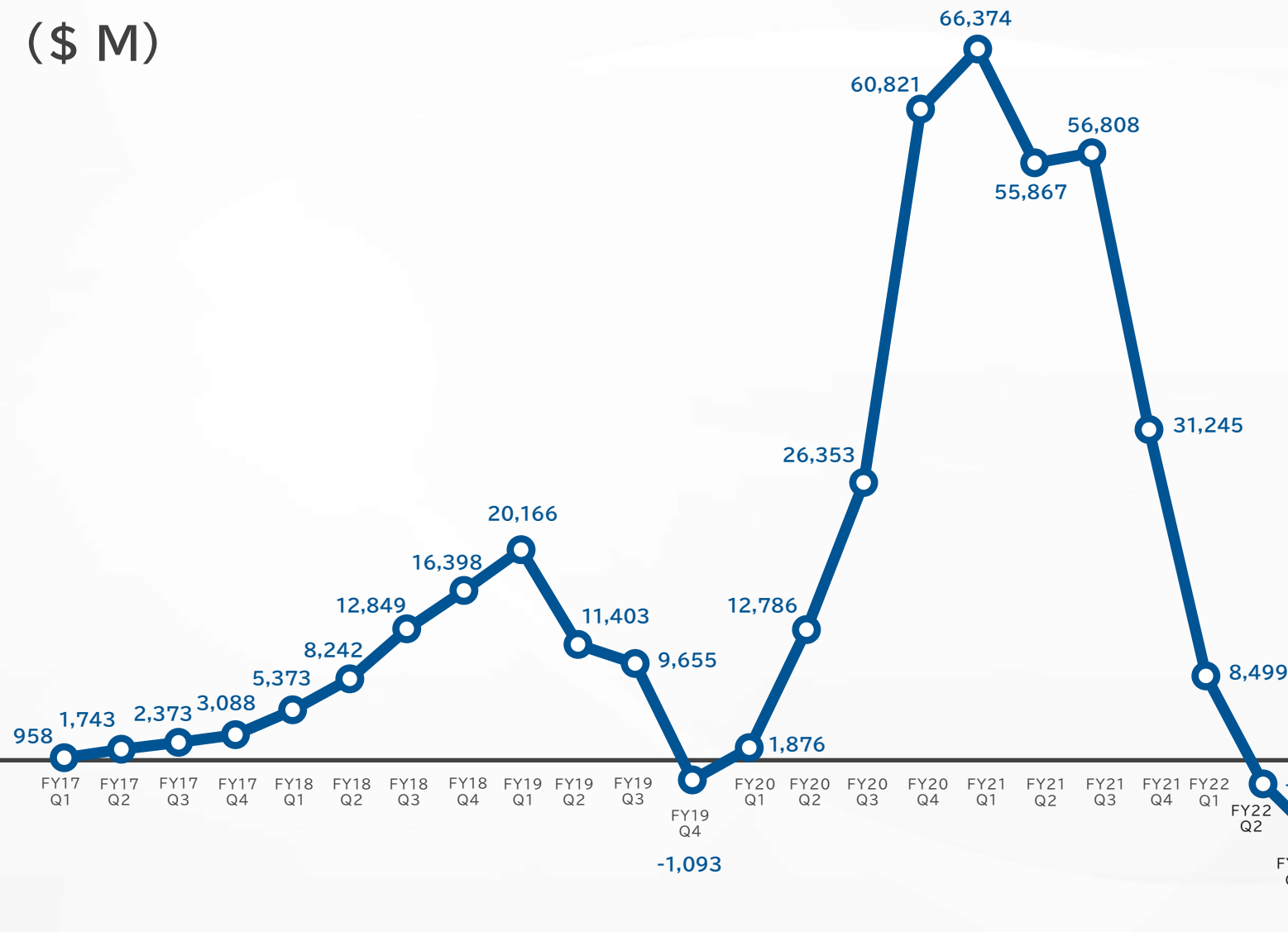
当社子会社(主にアーム)への
投資に係る投資損益を含む
(連結ベースでは消去)

投資損益(四半期): SVF1, SVF2およびLatAmファンドからの投資損益の四半期計上額
(当社連結財務諸表の作成における為替換算前、デリバティブ関連損益含む、外部投資家持分および税金等控除前)

SVF: 投資損益 (累計)

USDベース
(SVF1+SVF2+LatAmファンド)

(\$ M)



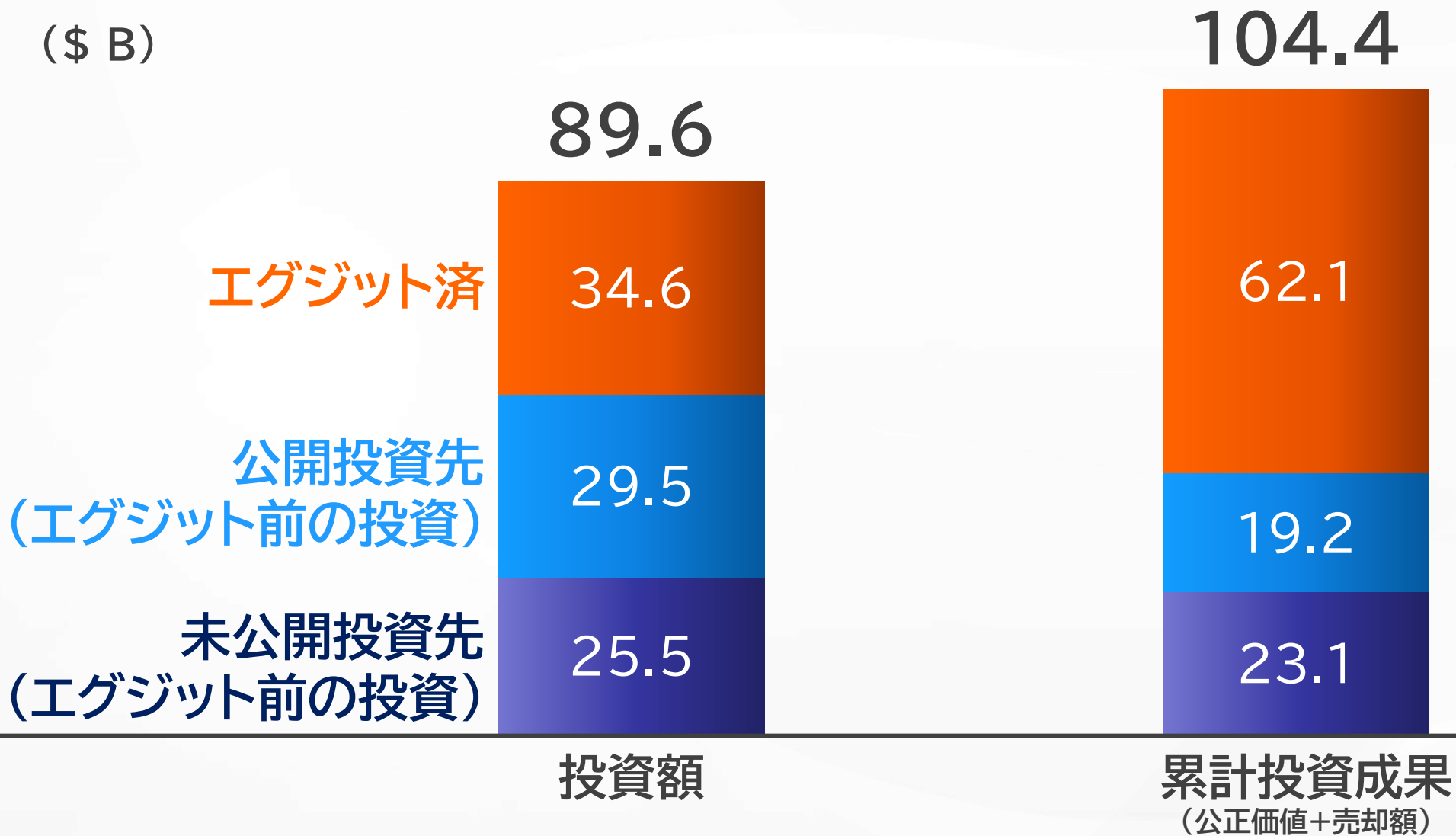
累計投資損失は
改善続く

FY23Q2
-7,316

投資損益(累計):SVF1、SVF2およびLatAmファンドからの投資損益の2017年度Q1からの累計上額
(当社連結財務諸表の作成における為替換算前、デリバティブ関連損益含む、外部投資家持分および税金等控除前)

SVF1 累計投資成果 (2023年9月末時点)

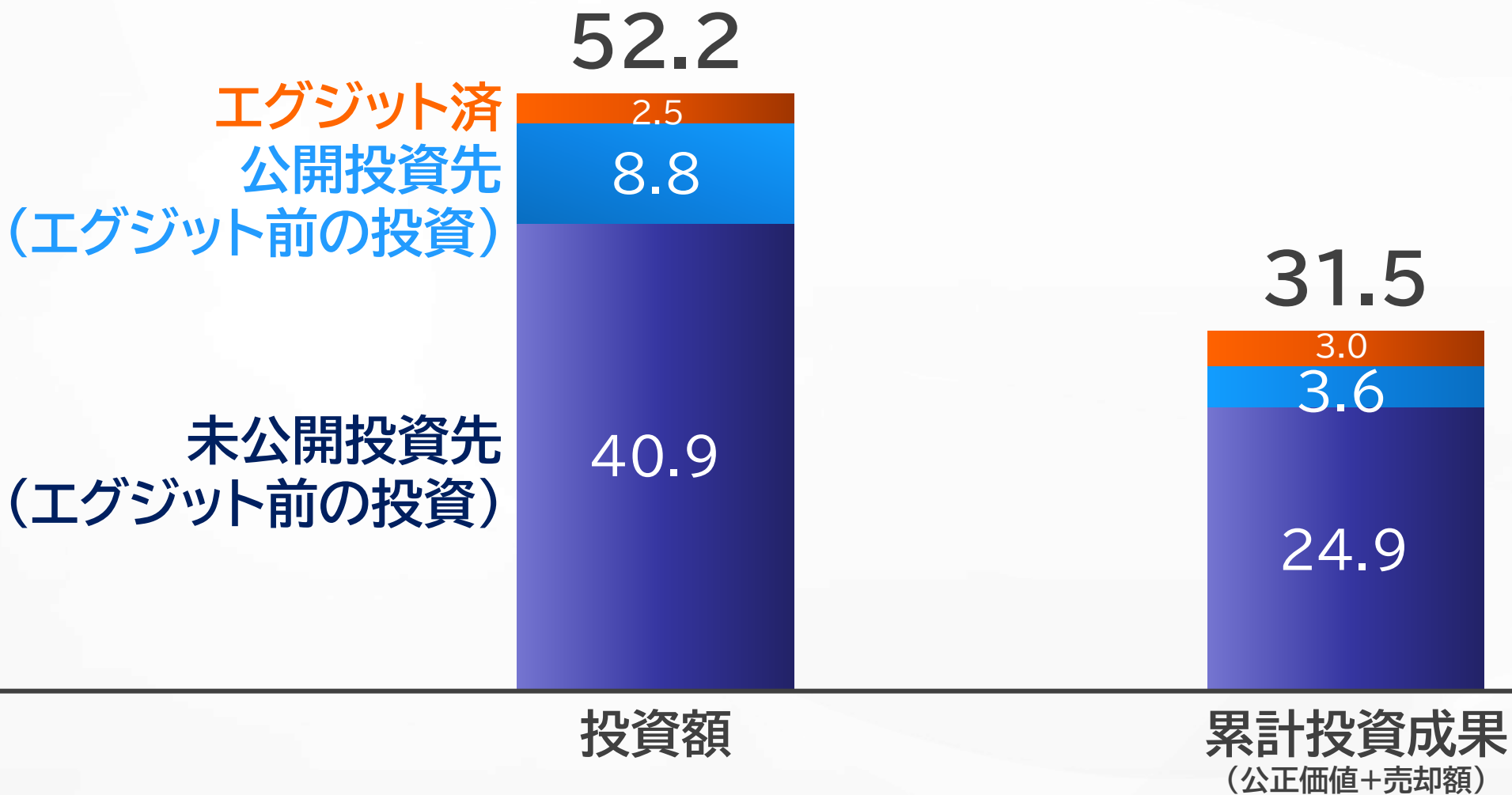
(\$ B)



外部投資家持分および税金等の控除前。投資先の公開/未公開の区分は、2023年9月末時点の状態に基づく。
エグジット済には、株式交換および投資先の組織再編による処分(売却)、投資に係るデリバティブ関連損益(未決済のデリバティブを含む)、投資先からの利息および配当金を含む。公開投資先には店頭市場で取引されている株式への投資を含む。
当社からSVF1への移管が決定されていたものの実行されなかった投資について、移管の取りやめを決定するまでの期間に発生した未実現評価損益は累計投資成果に含めていない。

SVF2 累計投資成果 (2023年9月末時点)

(\$ B)



外部投資家持分および税金等の控除前。投資先の公開/未公開の区分は、2023年9月末時点の状態に基づく。
エグジット済には、株式交換による処分(売却)、投資に係るデリバティブ関連損益(未決済のデリバティブを含む)、投資先からの利息および配当金を含む。公開投資先には店頭市場で取引されている株式への投資を含む。
SVF2のエグジット前の投資の投資額および公正価値には、投資の取得対価の一部として受領した他会社の非支配持分に係るものを含む。

株式公開実績と今後のパイプライン

株式公開実績(活動開始来累計)

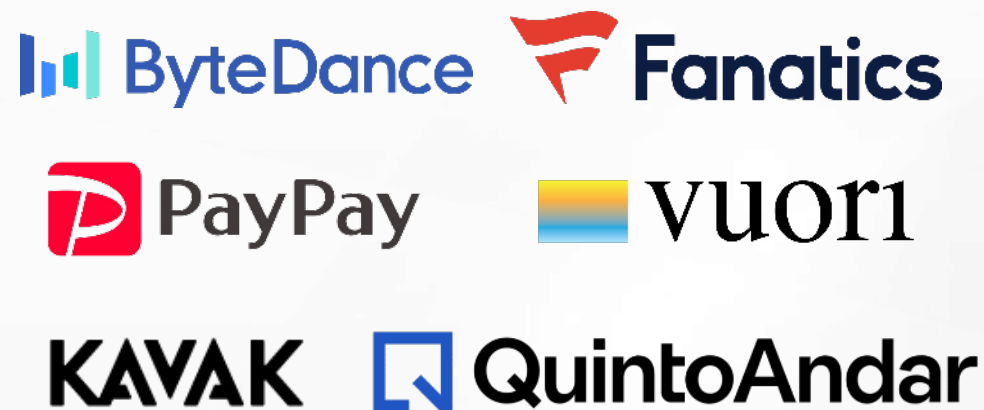
50件



強固なレイトステージ投資のポートフォリオ

\$29B+ レイトステージ投資の公正価値

主な投資先



株式公開件数(活動開始来累計): IPO件数およびSPACとの合併(De-SPAC)による株式公開件数。株式公開日に投資した投資先および投資後に全部エグジットまたは上場廃止した投資先を含む。WeWorkおよびFull Truck Allianceは、SVF1およびSVF2のいずれからも投資している。レイトステージ投資の公正価値(\$29B+): SVF1、SVF2およびLatAmファンドの投資先のうち、シリーズE以降の投資先および株式公開を計画している投資先の公正価値合計。2023年9月末時点(出所) SBGAおよびSBIA

本スライドに記載の投資は、SVF1、SVF2およびLatAmファンドが実施した投資のうち、株式公開されたもの、または将来公開される可能性があるとSBIAが判断したものを例示するために選択されたものであり、SVF1、SVF2およびLatAmファンドの投資先を網羅するものではない。本スライドに記載の投資への言及は、特定の投資または証券の推奨として解釈されるべきものではなく、将来行われる投資が、本スライドに記載の投資と質またはパフォーマンスにおいて同等であると想定されるべきではない。SVF1およびSVF2の投資先一覧は<https://visionfund.com/portfolio/>に、LatAmファンドの投資先一覧は<https://www.latinamericafund.com/portfolio/>に掲載。過去の投資実績は将来の業績を示唆するものではない。

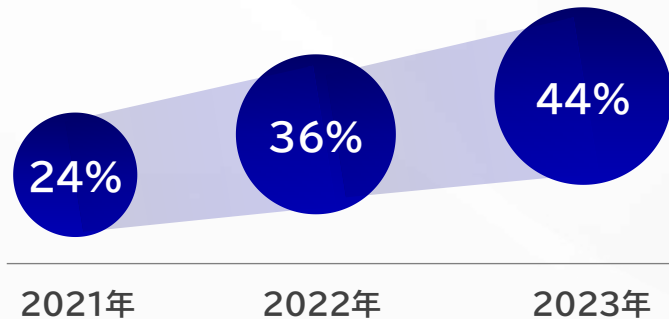
AI革命をけん引するポートフォリオ

さまざまな領域でトップクラスのAI技術を導入






AIアルゴリズムで、ユーザーの嗜好に沿ったコンテンツを提示

ソーシャル・メディア利用者のTikTok利用率



生成系AI技術により、直感的なオンライン食品注文が可能に。インドで事業を展開

生成系AIの使用例

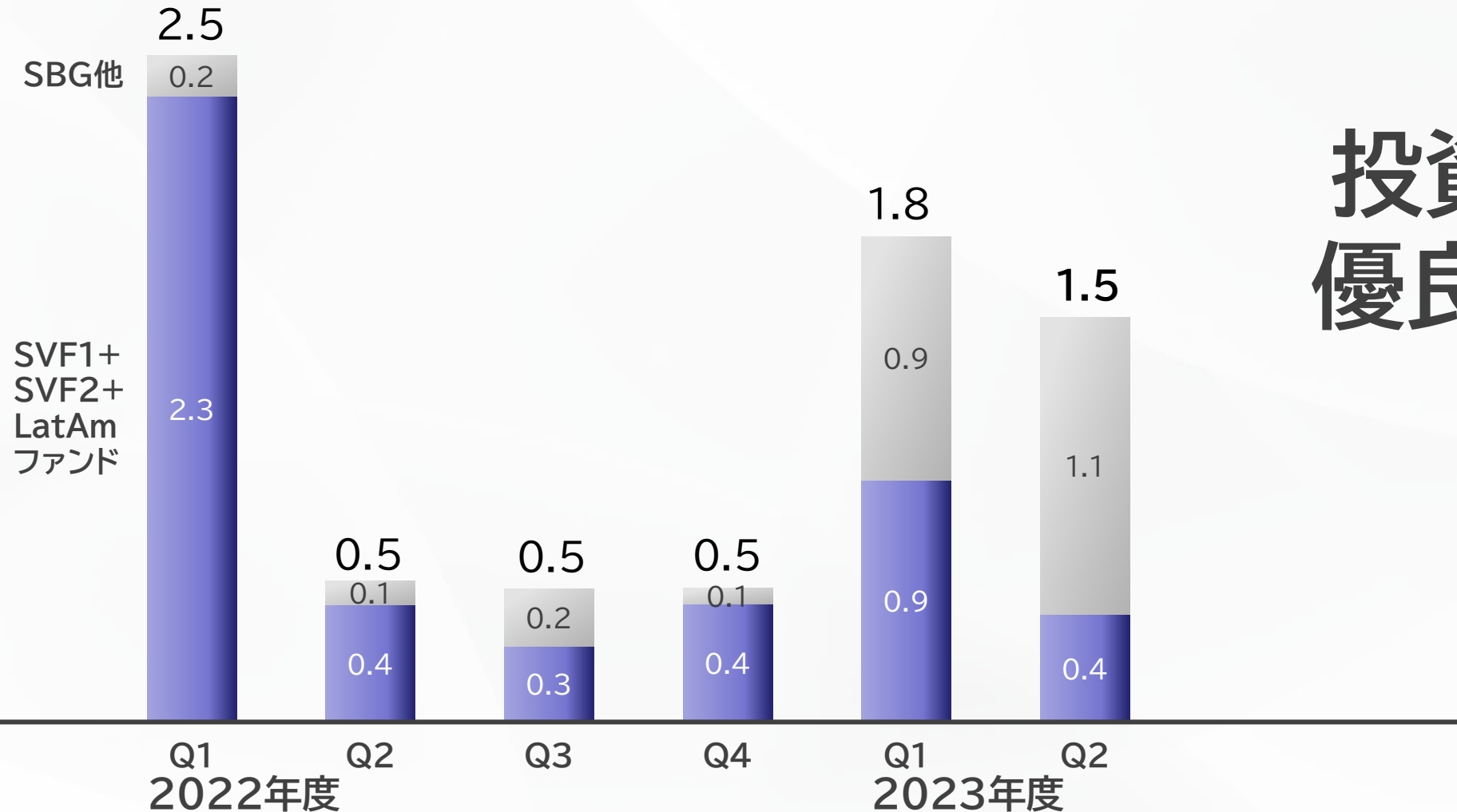
-  会話型およびオープンエンドの検索データベース
-  大規模言語モデルに基づくAIベースの検索システム
-  ユーザー特性に応じた商品推奨システム

2023年9月末時点
(出所) SBGAおよびSBIA、Swiggy
ソーシャル・メディア利用者のTikTok利用率: Statista - Social media: TikTok users in the United States (2023年9月)
本スライドに記載の投資は、AI革命をけん引するとSBIAが考える投資先の例示を目的として選択されたものであり、SVF1、SVF2およびLatAmファンドの投資先を網羅するものではない。第三者から提供された統計は例示としてのみ使用され、本スライドに記載の投資の過去、現在、または将来のパフォーマンスおよび成長を示すものではない。本スライドに記載の投資への言及は、特定の投資または証券の推奨として解釈されるべきものではなく、将来行われる投資が、本スライドに記載の投資と質またはパフォーマンスにおいて同等であると想定されるべきではない。
SVF1およびSVF2の投資先一覧は<https://visionfund.com/portfolio/>に、LatAmファンドの投資先一覧は<https://www.latinamericafund.com/portfolio/>に掲載
本スライドに記載の指標は、投資先の事業運営の特定の領域に係るものとして、SBIAの主観的な判断に基づいて選択された。同指標は、投資先の事業の一部を説明するために例示としてのみ提供され、必ずしも投資先の業績や事業の全てを説明するものではない。過去の傾向が、SVF1、SVF2およびLatAmファンドの存続期間を通じて将来も継続することを保証するものではない。

AI投資戦略

投資額の推移 (SVF1+SVF2+LatAmファンド+SBG他)

(\$ B)



投資は再開、
優良案件発掘
に注力

SBG他投資額: SBGおよび主な100%子会社からの投資額(米国債への投資を除く)。グループ内取引に伴う投資額を除く。
SVF投資額: 新規および既存投資先への追加投資の合計。株式交換を含む。SBGからSVFへの移管に伴う投資額を除く。

AI投資戦略

SBGの 投資戦略

II

AIへの 投資戦略

SBGからの投資

- より長期での価値創造
- 戦略投資
- 柔軟な持分比率
- テーマ性のある集中投資



SVFからの投資

- 投資期間は最長14年
- 純投資
- マイノリティ投資
- 分散投資

SVF1

SVF2

LatAm

自社開発したAIを搭載した高度な自動運転技術の活用により 顧客のサプライチェーンと運送ルート、エネルギー効率を最適化



- SBGの支援により2023年初頭に設立
- AIを搭載した自動運転技術により、トラック業界の積年の課題解決を軽減
 - ✓ ドライバー不足
 - ✓ 稼働時間の効率化
 - ✓ 安全性の懸念
 - ✓ 運送コスト
 - ✓ 排出ガス
- 米国の本社と15の州で170人の従業員を雇用

パレットの取り扱いを無人化する自動運転フォークリフトを提供



- 2005年設立、2017年EURONEXT上場
- 2023年10月にTOBにより71.4%の株式取得を完了
- 30か国、300超の施設で1,200台超が稼働
- システムの導入と更新は、コーディング不要かつウェブベースで実現
- CO2排出削減に向けたロードマップを展開

用途に合わせたカスタム地図アプリや位置情報の技術を提供



- 2013年設立
- AIを活用した位置情報・ナビゲーション情報を提供、7億人以上のユーザーが同社の地図を利用
- トヨタ、GM、BMW、リヴィアンがカーナビに採用
- 配送ルート最適化、リアルタイム車両運行管理の物流ソリューションも提供

動画をご覧ください





生命体が生まれて
40億年の歴史の中で、
この10年間に
シンギュラリティは来る

我々はまさにその10年の
クロスオーバーの時にいる

現在

10年以内

20年以内

AI



GPT-4
(医師免許試験 合格)

全人類の叡智
10倍

全人類の叡智
10,000倍



学習

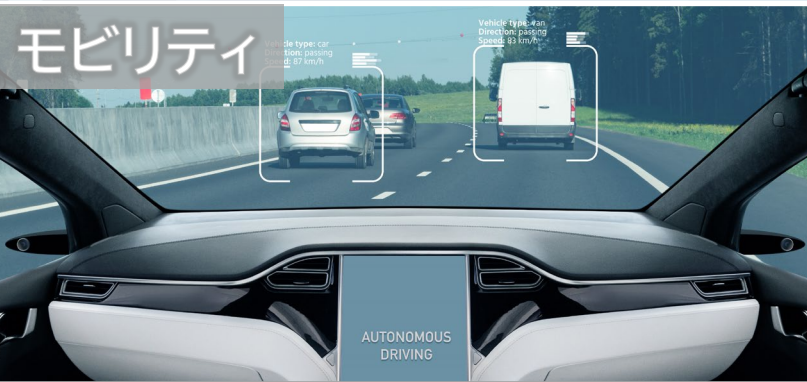


推論



AGIはあらゆる産業を根底から変革
(リアルタイム学習・推論)

モビリティ



自動運転で事故のない世界

ヘルスケア



遺伝子解析で個別最適な医療

サービス



より人間らしいカスタマーサービス

ファイナンス



最適な投資の実行

物流



あらゆるデータを活用した需給マッチング
秒単位でのジャストインタイム

生産現場



自動化で効率化された世界

AGIは全産業を変革

A photograph of Masayoshi Son, the CEO of SoftBank, speaking at a conference. He is shown from the chest up, wearing a grey suit jacket over a black turtleneck. He is looking slightly to his right and has his right hand raised in a fist. The background is a dark blue wall with some abstract light patterns.

ソフトバンクを
世界で最もAIを
活用する
グループにしたい

財務戰略

2023年度の財務戦略

財務方針の堅持

「守り」「攻め」
両面に対応
できる財務運営

財務方針の堅持

1

通常時 LTV25%未満 で運用（異常時でも上限35%）

2

少なくとも 2年分の社債償還資金 を保持

3

SVFや子会社から 継続的な配当収入 を確保

「守り」「攻め」に対応できる財務運営

更なるダウンサイド
にも耐える「守り」

財務の安全性を
維持しつつ
情報革命を牽引する
投資は実行

通常時 LTV25%未満で運用
(2023年9月末 LTV=10.6%)

少なくとも2年分の社債償還資金を保持
(2023年9月末 手元流動性=5.1兆円)

キャピタルアロケーション



バランスを
常に考慮

* NAVディスカウント水準も考慮事項

まとめ

1 アームIPO完了、更なる成長へ

2 NAVは15.5兆円から16.4兆円へ増加

3 投資は再開、優良案件発掘に注力

4 SVFは中長期的な価値向上に注力

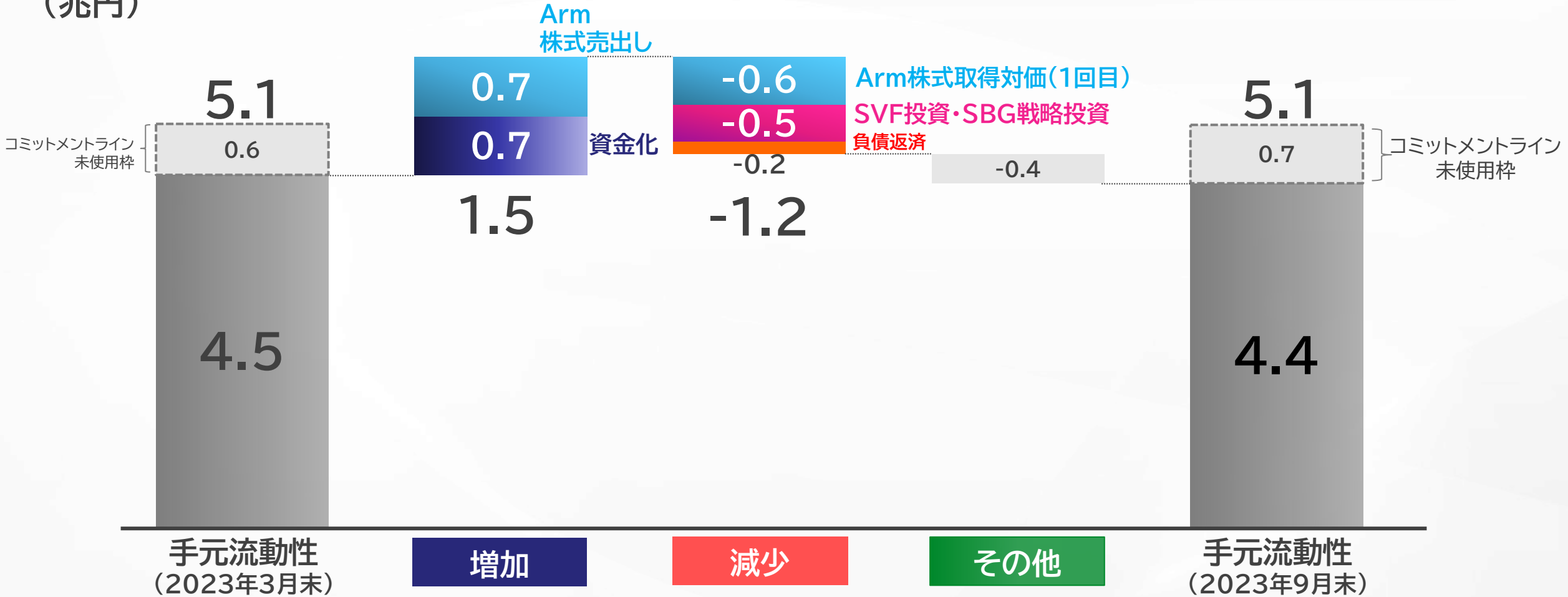
情報革命で人々を幸せに



Appendix

資金化と資本配分 (2023年度Q1-Q2)

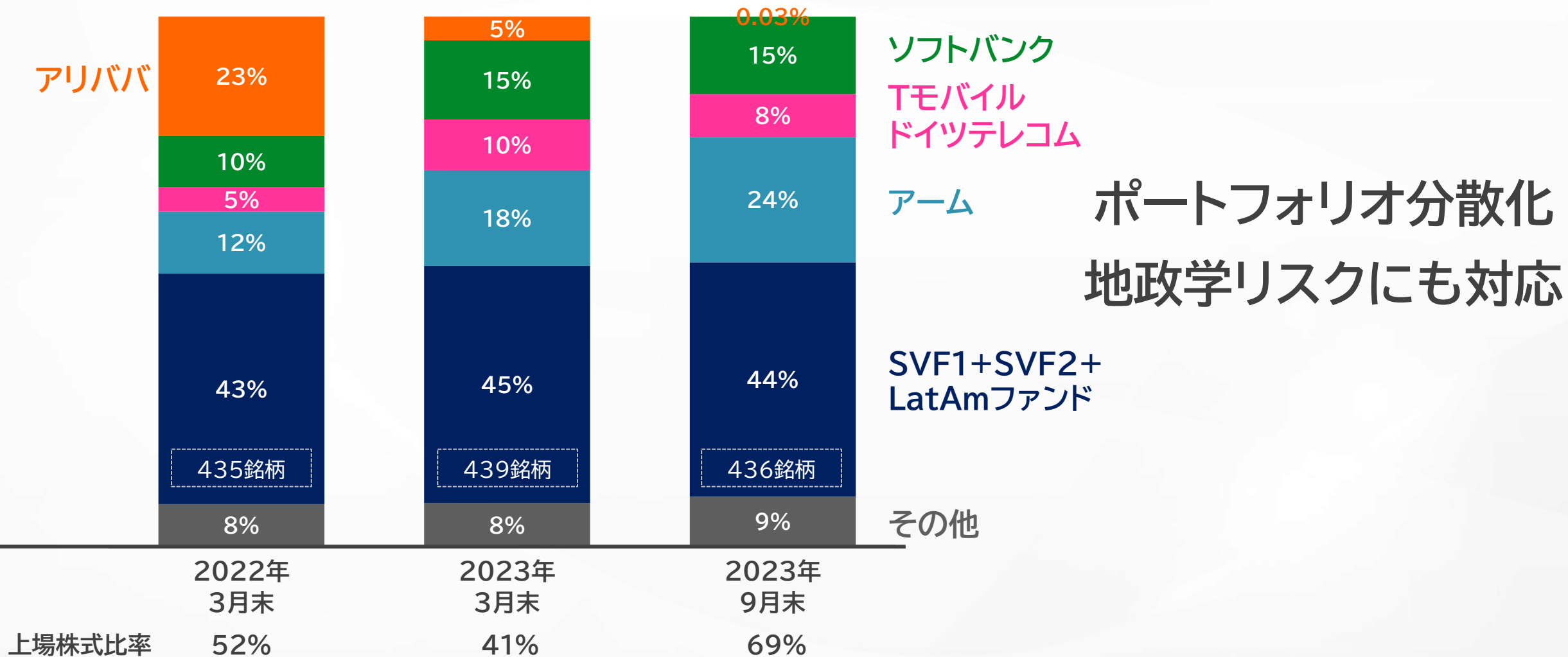
(兆円)



各四半期の平均レート等により円換算
 手元流動性=現金及び現金同等物+流動資産に含まれる短期投資+国債投資+コミットメントライン未使用枠。SBG単体ベース(SB Northstarを除く。ただし現金及び現金同等物は含む。)
 SBG単体:連結グループから独立採算子会社を除いたベース。独立採算子会社は、ソフトバンク、SVF1、SVF2、LatAmファンド、アーム等
 資金化:SVF1からの分配(+ \$0.2B)、SVF2からの分配(+ \$12M)、LatAmファンドからの分配(+ \$30M)、アリババ株式を活用した株式先渡売買契約(+ \$4.4B)、子会社の支配喪失による収入(+ \$0.7B)
 負債返済: SBGの社債償還(永久ハイブリッド債(- ¥277.8B)、国内普通社債(- ¥19.5B)、国内ハイブリッド社債(- ¥15.4B))、期中に買入れた社債(- ¥145.8B)。SBG社債発行(+ ¥220.0B)、SBGハイブリッドローン調達(+ ¥53.1B)等をネットして記載
 SVF投資・SBG戦略投資:SVF投資額合計(- \$1.3B)、SBG戦略投資合計(- \$2.0B)

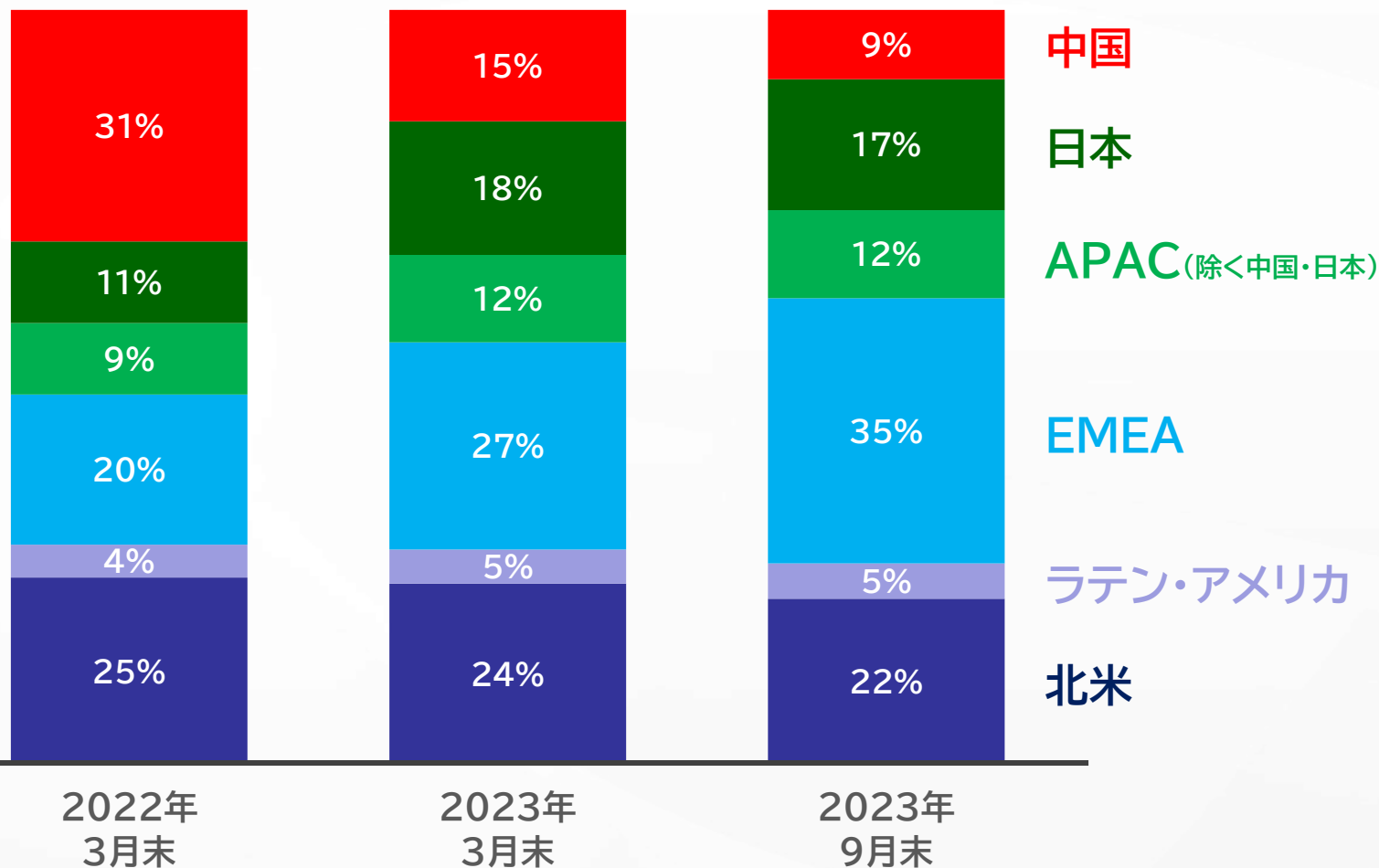
保有株式価値：ポートフォリオの分散

アセットバック・ファイナンス除く



保有株式価値の算出方法については、各四半期決算説明会プレゼンテーション資料に記載の「NAV・LTVの定義及び算出方法」を参照
 上場株式比率：アリババ、SVF1、SVF2およびLatAmファンドが保有する上場株式、アーム、ソフトバンク、Tモバイル、ドイツテレコム、およびその他のうちの上場株式を含む(ただし、SVF1、SVF2およびLatAmファンドはSBGの持分のみを含む)。
 2023年9月末におけるSVF1・2およびLatAmファンドが保有する銘柄数の内訳：SVF1は73件、SVF2は273件、LatAmは90件。詳細については、「2024年3月期 第2四半期 決算データシート」掲載の各ファンド投資先一覧を参照

保有株式価値：ポートフォリオの分散



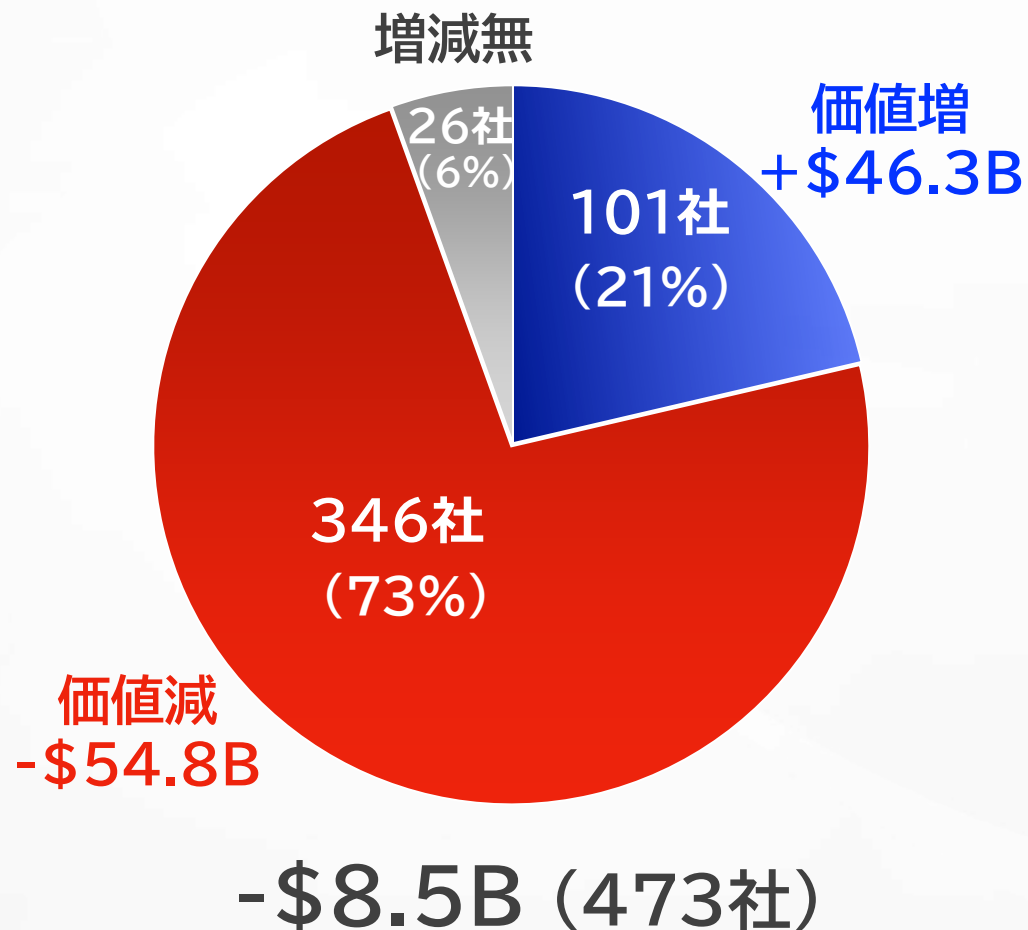
地域分散 が進展

各投資先の本社所在地に基づき地域を分類
 中国:アリババ、SVF1およびSVF2(中国相当)、その他の中国投資の合計
 日本:ソフトバンク、SVF1およびSVF2(日本相当)、その他の日本投資の合計
 APAC(除く中国・日本):SVF1およびSVF2(中国・日本を除くAPAC相当)、その他の中国・日本を除くAPAC投資の合計
 EMEA:アーム、ドイツテレコム、SVF1およびSVF2(EMEA相当)、その他のEMEA投資等の合計
 ラテン・アメリカ:LatAmファンド、SVF1(ラテン・アメリカ相当)、その他のラテン・アメリカ投資の合計
 北米:TMパイル、SVF1およびSVF2(北米相当)、その他の北米投資の合計

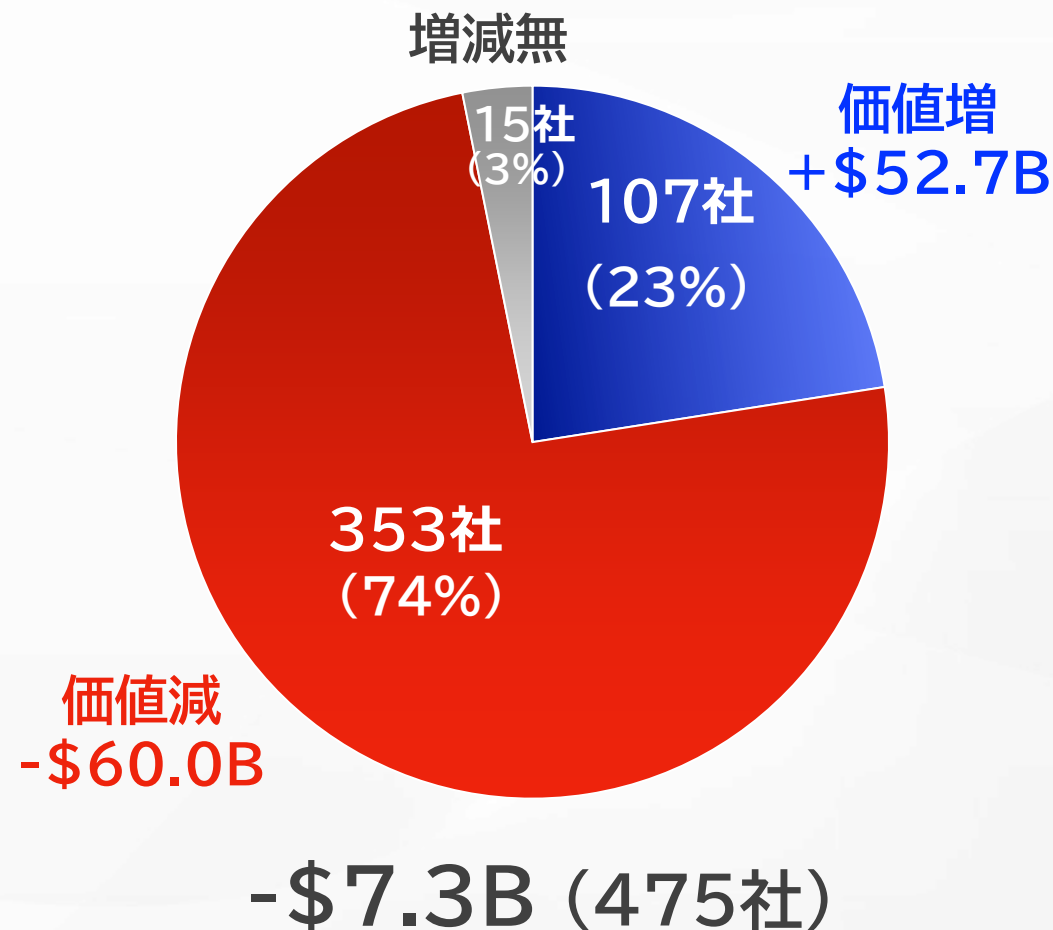
SVF:ポートフォリオの価値変動(累計)

USDベース
(SVF1+SVF2+LatAmファンド)

2023年3月末



2023年9月末



ポートフォリオの価値変動(累計):SVF1、SVF2およびLatAmファンドからの投資損益(デリバティブ関連損益含む、外部投資家持分および税金等控除前)
Polygon(MATICトークンの購入による投資)を含む(価値の増減無としてカウント)。

SVF:投資損益

USDベース
(SVF1+SVF2+LatAmファンド)

2023年度Q1 (計+\$975M)

2023年度Q2 (計+\$232M)

価値増

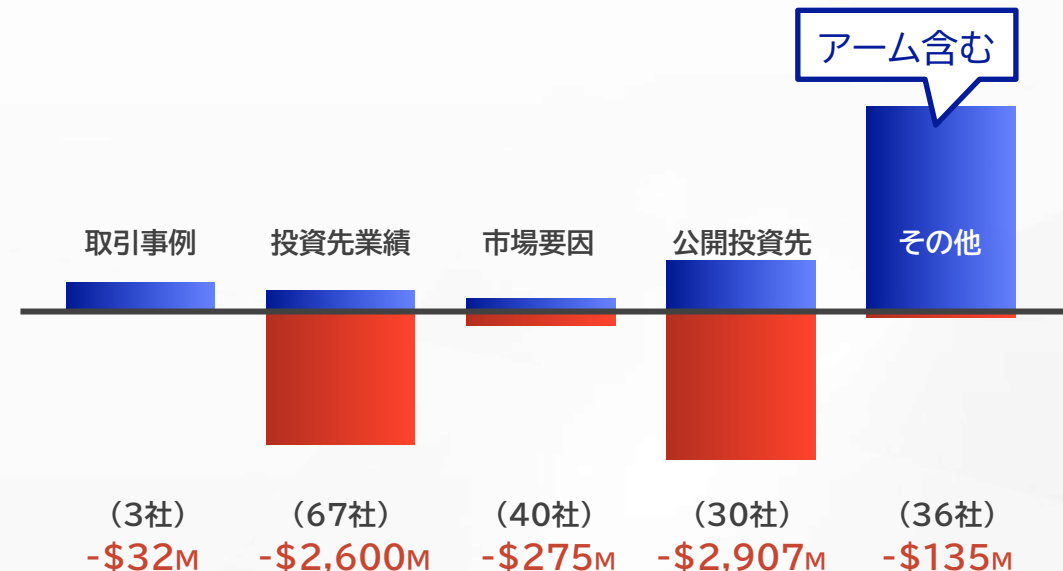
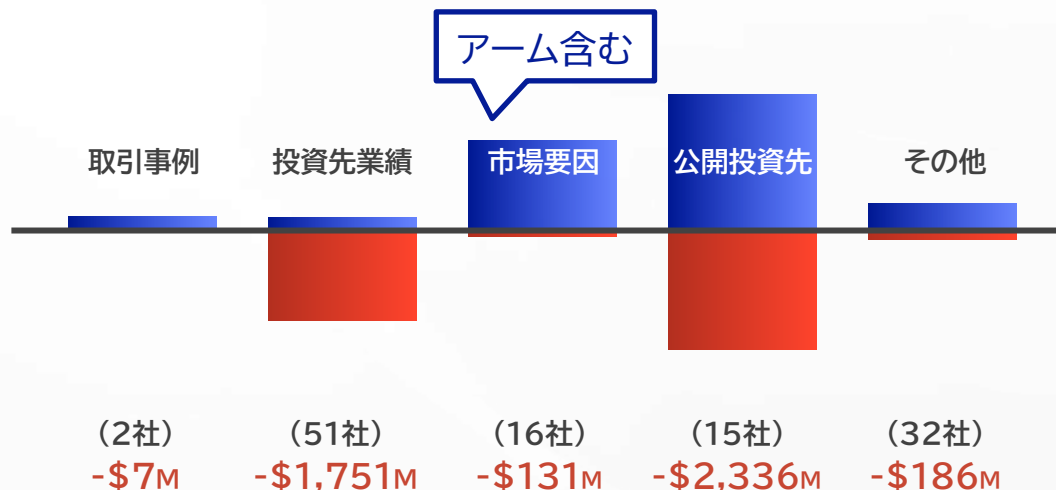
+\$5,385M (150社)

+\$6,180M (89社)

+\$256M (9社) +\$238M (12社) +\$1,731M (44社) +\$2,649M (32社) +\$511M (53社)

+\$557M (16社) +\$404M (26社) +\$242M (15社) +\$989M (20社) +\$3,990M (12社)

主要因



価値減

-\$4,410M (116社)

-\$5,948M (176社)

投資損益:SVF1、SVF2およびLatAmファンドからの投資損益(デリバティブ関連損益含む、外部投資家持分および税金等控除前)
各投資先の2023年度Q1および2023年度Q2における価値変動の主要因について、SBGAおよびSBIAが合理的と考え決定した区分に基づき分類し表示
(出所) SBGAおよびSBIA
市場要因:類似企業株価比較、資本コストの変動などによる価値変動を含む。
公開投資先:店頭市場で取引されている投資先を含む。公開投資先の一部エグジットまたは全部エグジットによる投資損益などを含む。
その他:未公開投資先の全部エグジットによる投資損益および為替影響などを含む。

SVF1 公開株投資先 (2023年9月末時点)

(\$ M)	(a) 投資額 *1	時価 *2 (グロス)	(b)	(c) = (b) - (a) 損益 (グロス)	(d) = (b) / (a) 倍率 *3
	Coupang	2,729	10,628	7,899	3.9x
	Doordash	680	7,539	6,859	11.1x
全持分売却済	NVIDIA	2,878	5,813	2,936	2.0x
全持分売却済	Guardant Health	308	2,665	2,358	8.7x
全持分売却済	Uber	7,666	9,215	1,549	1.2x
全持分売却済	Slack	334	1,018	684	3.0x
全持分売却済	Ping An Good Doctor	400	828	428	2.1x
	PolicyBazaar	199	588	389	3.0x
全持分売却済	Opendoor	450	824	374	1.8x
全持分売却済	10x Genomics	31	338	307	10.9x
	Delhivery	397	690	293	1.7x
	Roivant *4	919	1,096	177	1.2x
	Vir Biotechnology	199	326	127	1.6x
	Zomato	309	343	34	1.1x
	Energy Vault	60	47	-13	0.8x
	Relay Therapeutics	300	235	-65	0.8x
	OneConnect	100	4	-96	0.0x
全持分売却済	ZhongAn	550	400	-150	0.7x
	Aurora Innovation	333	93	-240	0.3x
	GoTo (Gojek Tokopedia)*5	841	591	-250	0.7x
	Full Truck Alliance	1,700	1,421	-279	0.8x
	Getaround	348	8	-340	0.0x
	Paytm	1,600	1,252	-348	0.8x
	SenseTime	1,429	1,071	-358	0.7x
	Ginkgo Bioworks	404	44	-360	0.1x
	Auto1	741	344	-397	0.5x
	Grab	2,993	2,476	-517	0.8x
	Compass	1,082	396	-686	0.4x
	View	1,175	8	-1,167	0.0x
	WeWork *6	3,468	7	-3,462	0.0x
	DiDi	12,073	3,128	-8,945	0.3x
(A)	公開株式 合計 (グロス)*7	\$46,697 (7.0兆円)	\$53,435 (8.0兆円)	\$6,738 (1.0兆円)	1.1x
(B)	未公開株式等 *8	\$40,911	\$48,976	\$8,065	
(A)+(B)	SVF1 合計 (SBG目線)	\$87,608	\$102,411	\$14,803	

1. 投資額: 投資関連の資金調達を含む投資目的の全ての外部キャッシュフローと投資関連のヘッジに支払われたオプション料 (純額) の合計

2. 時価 (グロス): 投資とそれに関連するヘッジから生じる全ての外部キャッシュフローと2023年9月末時点における未実現有価証券の公正価値の合計。税金、投資関連の資金調達及びその他のファンド関連の負債等考慮前

3. 倍率: Gross multiples of invested capital (Gross MOIC)。時価 (グロス) を投資額で除して算出。純額ベースの銘柄別の投資成果は、報酬及び費用の配分について仮定を置いて算出するため未掲載

4. Roivant: SVF1の公開株の投資額からはRoivantの上場前(2020年3月)に実現した\$116Mを除外

5. GoTo: SVF1の公開株の投資額には、Gojekとの合併前のTokopediaへの投資を反映しており、GoTo上場前に実現した\$7Mを除外

6. WeWork: SVF1の公開株の投資額(\$3,468M)には、WeWork Asia Holding Company B.V. ("WeWork Asia")への投資額(\$400M)が含まれる。WeWork Asia株式は1株当たり\$11.60で2020年4月にWeWork優先株式に交換

7. 公開株式 合計 (グロス): 公開株式には店頭市場で取引されているDiDiへの投資を含む。

8. アームを含む。アームの新規株式公開に先立つ2023年8月、当社100%子会社はSVF1が保有していたアームの普通株式の実質的に全てを取得した。

SBG目線: ソフトバンク・ビジョン・ファンド事業のセグメントベース。NVIDIAのヘッジ取引に係るデリバティブ損益等を含む。SBGからSVF1への移管が決定されていたものの実行されなかった投資について、移管の取りやめを決定するまでの期間に発生した未実現評価損益は含まない。

累計投資パフォーマンスを純額で表示

SVF1に対するSBGからの累計支払額 (純額) (Net-Paid-in capital) = \$27.7B。SBGに帰属する価値合計 (Total Value) = \$30.1B。詳細は「2024年3月期 第2四半期決算 投資家向け説明会資料 SoftBank Vision & LatAm Funds」を参照

SVF2 公開株投資先 (2023年9月末時点)

(\$ M)		(a) 投資額 *1	(b) 時価 *2 (グロス)	(c) = (b) - (a) 損益 (グロス)	(d) = (b) / (a) 倍率 *3
全持分売却済	Beike	1,350	2,497	1,147	1.8x
	Symbotic	200	669	469	3.3x
	Neumora Therapeutics	60	108	48	1.8x
	IonQ	61	92	31	1.5x
	Keep	200	222	22	1.1x
	Globalstar	5	6	1	1.3x
全持分売却済	Qualtrics *4	24	15	-9	0.6x
全持分売却済	Berkshire Grey *5	115	92	-23	0.8x
	Pear Therapeutics	46	0	-46	0.0x
	Alnovation	126	62	-64	0.5x
	Beisen	100	30	-70	0.3x
	Full Truck Alliance	250	166	-84	0.7x
	Zhangmen	105	1	-104	0.0x
	Seer	205	11	-194	0.1x
	Exscientia	284	86	-199	0.3x
	DingDong Mai Cai	325	27	-297	0.1x
	JD Logistics	601	162	-438	0.3x
	Better	497	30	-467	0.1x
	AutoStore	2,800	1,688	-1,112	0.6x
	WeWork	3,033	113	-2,920	0.0x
(A)	公開株式 合計 (グロス) *6	\$10,386 (1.6兆円)	\$6,075 (0.9兆円)	-\$4,311 (-0.6兆円)	0.6x
(B)	未公開株式等	\$41,771	\$25,405	-\$16,366	
(A)+(B)	SVF2 合計(SBG目線)	\$52,157	\$31,480	-\$20,677	

- 投資額: 投資関連の資金調達を含む投資目的の全ての外部キャッシュフローと投資関連のヘッジに支払われたオプション料 (純額) の合計
- 時価(グロス): 投資とそれに関連するヘッジから生じる全ての外部キャッシュフローと2023年9月末時点における未実現有価証券の公正価値の合計。税金、投資関連の資金調達及びその他のファンド関連の負債等考慮前。
- 倍率: Gross multiples of invested capital (Gross MOIC)。時価(グロス)を投資額で除して算出。純額ベースの銘柄別の投資成果は、報酬及び費用の配分について仮定を置いて算出するため掲載していない。
- 2023年6月28日に上場廃止。なお、SVF1は2023年6月29日に同社の全持分を売却済み
- 2023年7月20日に上場廃止。なお、2023年7月にSBGが同社の全株式を取得済み
- 公開株式 合計(グロス): 公開株式には店頭市場で取引されているZhangmenおよびPear Therapeuticsへの投資を含む。

SBG目線: ソフトバンク・ビジョン・ファンド事業のセグメントベース。累計投資パフォーマンスを純額で表示。

SVF2に対するSBGからの累計支払額 (純額) (Net-Paid-in capital) = \$53.4B、SBGに帰属する価値合計 (Total Value) = \$32.4B。詳細は「2024年3月期 第2四半期決算 投資家向け説明会資料 SoftBank Vision & LatAm Funds」を参照

NAV・LTVの定義及び算出方法 (2023年9月末時点)

1. NAV (Net Asset Value: 時価純資産)

- NAV = 保有株式 - 純負債

2. 保有株式(保有株式価値、アセットバック・ファイナンス調整後)

- アリババ: SBGの保有株式数に相当する米国預託証券数 × 同証券の株価 - アリババ株式を活用した複数の先渡売買契約(フロア契約・カラー契約・フォワード契約・コールスプレッド)のうち未決済分の満期決済金額(同社株価で算出)の合計額
- ソフトバンク: SBGの保有株式数 × 同社株価 - 同社株式を活用したマージンローンの負債残高相当額等
- SVF1: SVF1のNAVに対するSBGの持分 + 成功報酬の見込み金額等
- SVF2: SVF2のNAVに対するSBGの持分等
- LatAmファンド: LatAmファンドのNAVに対するSBGの持分 + 成功報酬の見込み金額
- Tモバイル: (a) + (b) - (c) - (d)
 - (a) SBGの保有株式数(ドイツテレコムが保有する株式購入オプションの対象株式数を含む) × 同社株価
 - (b) 一定の条件下でSBGがTモバイル株式を無償で取得できる権利(条件付対価)の公正価値
 - (c) ドイツテレコムが保有する未行使の株式購入オプションに係るデリバティブ金融負債の金額
 - (d) Tモバイル株式を活用した先渡売買契約(カラー契約)の満期決済金額(同社株価で算出)
- ドイツテレコム: SBGの保有株式数 × 同社株価 - 同社株式を活用したカラー取引の満期決済金額
- アーム: SBGの保有株式数 × 同社株価 - グループ内取引によりSVF1から取得した同社株式の未払金残高 - 同社株式を活用したマージンローンの負債残高相当額
- その他: (e) + (f) + (g)
 - (e) 上場株式: SBGの保有株式数に各株式の株価を乗じて算出
 - (f) 非上場株式: SBGが保有する未上場株式等の公正価値(公正価値で測定していない株式等はSBGのBS上の簿価)に基づいて算出
 - (g) SB Northstar: SB NorthstarのNAVに対するSBGの持分 + SBGが保有するNVIDIA Corporation株式の公正価値。なおSB Northstarの現金及び現金同等物ならびにマージンローンおよびプライムブローカレッジローン以外の有利子負債はSBGの純有利子負債の一部と見なし、同社NAVの算出には含まない。

3. 純負債(アセットバック・ファイナンス調整後)

- 純負債 = SBGの純有利子負債
- SBGの純有利子負債 = 連結純有利子負債 - 独立採算子会社等の純有利子負債 - その他調整
- 連結純有利子負債にはPayPay銀行株式会社の銀行業の預金及び手元流動性を含まない
- 独立採算子会社等の純有利子負債: ソフトバンク(Zホールディングス株式会社(現LINEヤフー株式会社)及びPayPay株式会社をはじめとする子会社を含む)、SVF1、SVF2、LatAmファンド及びアーム等の独立採算子会社、ならびにSB Northstarの有利子負債合計から現預金等合計を減算
 - なお、SB Northstarの現金及び現金同等物ならびにマージンローンおよびプライムブローカレッジローン以外の有利子負債をSBGの純有利子負債の一部と見なす。
- その他調整: 以下の(h)~(n)の調整額の合計
 - (h) ハイブリッド債およびハイブリッドローンのうち、償還期限のあるものは連結会計上全額が有利子負債に計上されるため50%を有利子負債から控除(対象社債: 第4回円建ハイブリッド債、第5回円建ハイブリッド債、第6回円建ハイブリッド債)
 - (i) ハイブリッド債のうち償還期限の無い永久債は連結会計上全額が資本計上されているため50%を有利子負債に算入(対象社債: 米ドル建ノンコール10年永久劣後社債)
 - (j) アリババ株式を活用した複数の先渡売買契約(フロア契約・カラー契約・フォワード契約)に係る株式先渡契約金融負債を控除
 - (k) ソフトバンク株式を活用したマージンローンの負債残高相当額等を控除
 - (l) Tモバイル株式を活用した先渡売買契約(カラー契約)に係る株式先渡契約金融負債を控除
 - (m) ドイツテレコム株式を活用したカラー取引に係る負債残高相当額を控除
 - (n) アーム株式を活用したマージンローンの負債残高相当額を控除

4. LTV (純負債/保有株式)

- LTV = 純負債 ÷ 保有株式

5. その他

- 株価: 2023年9月29日終値
- 為替: 1ドル = 149.58円

- SBG = ソフトバンクグループ株式会社、アリババ = Alibaba Group Holding Limited、ソフトバンク = ソフトバンク株式会社、SVF1 = ソフトバンク・ビジョン・ファンド1、SVF2 = ソフトバンク・ビジョン・ファンド2、LatAmファンド = ソフトバンク・ラテンアメリカ・ファンド
- Tモバイル = T-Mobile US, Inc.、ドイツテレコム = Deutsche Telekom AG、アーム = Arm Holdings plc
- 別段記載のない限り税金考慮前
- 当社の想定であり、SBGの普通株式を含むいかなる有価証券の価値や投資判断を示唆するものではありません。

NAV・LTVの定義及び算出方法 (2023年6月末時点)

1. NAV (Net Asset Value: 時価純資産)

- NAV = 保有株式 - 純負債

2. 保有株式(保有株式価値、アセットバック・ファイナンス調整後)

- アリババ: SBGの保有株式数に相当する米国預託証券数 × 同証券の株価 - アリババ株式を活用した複数の先渡売買契約(フロア契約・カラー契約・フォワード契約・コールスプレッド)のうち未決済分の満期決済金額(同社株価で算出)の合計額
- ソフトバンク: SBGの保有株式数 × 同社株価 - 同社株式を活用したマージンローンの負債残高相当額等
- SVF1: SVF1のNAVに対するSBGの持分 + 成功報酬の見込み金額等
- SVF2: SVF2のNAVに対するSBGの持分等
- LatAmファンド: LatAmファンドのNAVに対するSBGの持分 + 成功報酬の見込み金額
- Tモバイル: (a) + (b) - (c) - (d)
 - (a) SBGの保有株式数(ドイツテレコムが保有する株式購入オプションの対象株式数を含む) × 同社株価
 - (b) 一定の条件下でSBGがTモバイル株式を無償で取得できる権利(条件付対価)の公正価値
 - (c) ドイツテレコムが保有する未行使の株式購入オプションに係るデリバティブ金融負債の金額
 - (d) Tモバイル株式を活用した先渡売買契約(カラー契約)の満期決済金額(同社株価で算出)
- ドイツテレコム: SBGの保有株式数 × 同社株価 - 同社株式を活用したカラー取引の満期決済金額
- アーム: SVF1において算出されたアームの全株式の公正価値 × SBG保有割合(発行済株式総数の約75%) - SBGが保有する同社株式を活用したアセットバック・ファイナンスによる借入の負債残高相当額
- その他: (e) + (f) + (g)
 - (e) 上場株式: SBGの保有株式数に各株式の株価を乗じて算出
 - (f) 非上場株式: SBGが保有する未上場株式等の公正価値(公正価値で測定していない株式等はSBGのBS上の簿価)に基づいて算出
 - (g) SB Northstar: SB NorthstarのNAVに対するSBGの持分 + SBGが保有するNVIDIA Corporation株式の公正価値。なおSB Northstarの現金及び現金同等物ならびにマージンローンおよびプライムブローカレッジローン以外の有利子負債はSBGの純有利子負債の一部と見なし、同社NAVの算出には含まない。

3. 純負債(アセットバック・ファイナンス調整後)

- 純負債 = SBGの純有利子負債
- SBGの純有利子負債 = 連結純有利子負債 - 独立採算子会社等の純有利子負債 - その他調整
- 連結純有利子負債にはPayPay銀行株式会社の銀行業の預金及び手元流動性を含まない
- 独立採算子会社等の純有利子負債: ソフトバンク(Zホールディングス株式会社(現LINEヤフー株式会社)及びPayPay株式会社をはじめとする子会社を含む)、SVF1、SVF2、LatAmファンド及びアーム等の独立採算子会社、ならびにSB Northstarの有利子負債合計から現預金等合計を減算
 - なお、SB Northstarの現金及び現金同等物ならびにマージンローンおよびプライムブローカレッジローン以外の有利子負債をSBGの純有利子負債の一部と見なす。
- その他調整: 以下の(h)~(n)の調整額の合計
 - (h) ハイブリッド債およびハイブリッドローンのうち、償還期限のあるものは連結会計上全額が有利子負債に計上されるため50%を有利子負債から控除(対象社債: 第4回円建ハイブリッド債、第5回円建ハイブリッド債、第6回円建ハイブリッド債)
 - (i) ハイブリッド債のうち償還期限の無い永久債は連結会計上全額が資本計上されているため50%を有利子負債に算入(対象社債: 米ドル建ノンコール10年永久劣後社債)
 - ただし、(h)および(i)のうち、早期償還を通知済みのハイブリッド社債についてはその全額を有利子負債に計上(対象社債: 米ドル建ノンコール6年永久劣後社債、第2回円建ハイブリッド債)
 - (j) アリババ株式を活用した複数の先渡売買契約(フロア契約・カラー契約・フォワード契約)に係る株式先渡契約金融負債を控除
 - (k) ソフトバンク株式を活用したマージンローンの負債残高相当額等を控除
 - (l) Tモバイル株式を活用した先渡売買契約(カラー契約)に係る株式先渡契約金融負債を控除
 - (m) ドイツテレコム株式を活用したカラー取引に係る負債残高相当額を控除
 - (n) アーム株式を活用したアセットバック・ファイナンスによる借入の負債残高相当額を控除

4. LTV (純負債/保有株式)

- LTV = 純負債 ÷ 保有株式

5. その他

- 株価: 2023年6月30日終値
- 為替: 1ドル = 144.99円
- SBG = ソフトバンクグループ株式会社、アリババ = Alibaba Group Holding Limited、ソフトバンク = ソフトバンク株式会社、SVF1 = ソフトバンク・ビジョン・ファンド1、SVF2 = ソフトバンク・ビジョン・ファンド2、LatAmファンド = ソフトバンク・ラテンアメリカ・ファンド
- Tモバイル = T-Mobile US, Inc.、ドイツテレコム = Deutsche Telekom AG、アーム = Arm Limited (現Arm Holdings plc)
- 別段記載のない限り税金考慮前
- 当社の想定であり、SBGの普通株式を含むいかなる有価証券の価値や投資判断を示唆するものではありません。